

令和7年度

滝川市教育



滝川市教育委員会

滝川市民憲章

わたしたちは、母なる石狩川と空知川の寄りあう自然に恵まれた誇りある滝川の市民です。

わたしたちは、風雪のきびしさに耐えて生きぬいた開拓者の精神をしっかりと受けつぎ、たくましい、知性ゆたかな市民として明るい生き生きとした滝川市の発展につとめます。

- からだをきたえ、しごとにはげみ、明るい家庭をつくります。
- きまりを守り、力をあわせて、住みよい社会をつくります。
- 教育をたいせつにし、文化をひろめ、豊かな郷土をつくります。
- 緑を育て、環境をよくし、美しいまちをつくります。
- 未来に目をひらき、産業をおこし、新しい都市をつくります。

(昭和45年9月12日制定)



市の花

(昭和43年2月23日制定)
ツツジ



(昭和63年1月1日制定)
コスモス



市の木

(昭和43年2月23日制定)
プラタナス

．基本方針

令和7年度の教育行政の基本的な考えを申し上げます。

人口減少や少子化の進行、デジタル技術の高度化など、社会情勢が急速に変化し、従来の知識や経験のみでは将来を見通すことが難しい時代を迎えています。

このような時代にあっても、子どもたちが社会の変化に受け身で対応するのではなく、積極的に向き合い、主体的に課題を解決する学びの深化を通してよりよい社会を切り拓いていけるよう、学校教育を通じてそのために必要な資質・能力を育んでいくことが重要です。

また、人生100年時代と言われ、より多様で豊かな生き方・暮らし方が志向されている中、多くの市民が生涯を通じて自らの人生を設計し活躍することができるよう、必要な知識・技能の習得や学び直し、知的・人的ネットワークの構築や健康の保持・増進など、生涯にわたって生き生きと学び続けることができる環境づくりが求められています。

教育委員会といたしましては、滝川市教育大綱の基本理念である「未来を切り拓く自立型人材の育成」と「誰もが学び続けることができる共生社会の実現」を目指し、学校関係者や市民の皆様と連携・協働し、豊かな教育の実現を目指して教育行政を推進してまいります。

．重点施策

() 学校教育について

確かな学力と、幅広い知識・教養、職業実践力を育みます

学力向上については、小・中学校全校における「ＡＩドリル」の活用や、中学校区内の小・中学校が連携する校区一斉家庭学習週間の実施により、基礎・基本の定着と家庭学習の習慣化を図り、個別最適な学びを一層充実させます。

子どもたちが生涯にわたって主体的に学び続ける力を身につけられるよう、「問題発見・解決能力」「言語能力」「情報活用能力」を育成します。その上で、一人ひとりの子どもを主語にした授業を実現し、新しい時代に必要となる資質・能力を着実に育みます。

少人数指導や習熟度別指導を効果的に進めるため、学びサポーターなどのスタッフを配置するほか、「ＩＣＴ活用実践事例集」や「ＩＣＴスキル体系表」に基づき児童生徒用端末を活用することで、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に推進します。さらに、ＩＣＴを活用した授業改善を進めるため、北海道教育委員会の「新しいかたちの学びの授業力向上推進事業」の推進教員が他校への訪問や支援を行うことで、市内全体で学習環境の向上を目指します。

外国語を使ったコミュニケーション能力の向上を目指して、外国語指導助手（ALT）による授業支援やオンライン個別学習「ALT英会話学習」を通じて、児童生徒がネイティブの外国語に触れる機会を提供します。また、「英検ESG」や「英検IBA」を活用し、英語の4技能（読む・書く・聞く・話す）をバランスよく育成します。さらに、小学校の英語担当教員の指導力の向上を目指し、ALT活用運営会議での実践交流や英語専科教員の授業参観等を実施し、授業改善を支援します。

総合的な学習の時間では、自ら課題を見つけ、解決していく探究的な学習を取り入れ、自己の生き方を考えるための資質や能力を育みます。また、小学校の農業体験や中学校の職場体験活動を通して、勤労観や職業観の醸成に努めます。

豊かな心と健やかな体を育み、多様な教育ニーズに対応します

いじめ防止対策として、SNS上でのいじめが全国的に増加していることを踏まえ、各学校のいじめ対策組織を強化し、いじめ防止専門委員会やいじめ問題対策連絡協議会の専門的な知見を取り入れて未然防止に取り組むとともに、いじめ見逃しゼロを徹底し、早期発見・早期対応を行います。さらに、子どもたちがいじめ問題を主体的に考えるための「絆づくり成果交流会」を開催し、校区ごとの協議で児童会・生徒会によるいじめ撲滅に向けた活動を共有し、小・中学校が連携して行う「いじめを絶対に許さない学校づくり」を支援します。

また、学校において「スマホ安全教室」などの情報モラル教育を小学校段階から計画的に実施し、子どもたちがインターネットを通じたトラブルから自分や他人を守り、安全・安心にインターネットを活用できるよう支援します。

不登校対策としては、誰一人取り残されない学びの保障に向けて、不登校の児童生徒全員に学びの場を確保し、学びたいときに学べる環境を整えます。その一環として、適応指導教室における学習指導や体験活動を通じて社会的自立を支援するとともに、各校に設けられた校内教育支援センターの運営を支援します。また、対面でのコミュニケーションが苦手な児童生徒への支援として、オンラインでの学習などが可能な北海道教育委員会の「ほっかいどうメタキャンパス」を活用します。不登校の未然防止に向けては、心の小さなSOSを見逃さない取組を推進し、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーと連携した組織的な早期支援を進めます。また、不登校の子どもを持つ保護者が一人で悩みを抱え込まないよう、オンラインで教育相談ができる仕組みづくりなど、相談窓口の整備を進めます。

道徳教育の推進においては、子どもたちの豊かな情操や道徳性を育むことを目的とし、教師が進める授業から、児童生徒が主体的に「考え、議論する道徳」へと質的転換を図るために、外部講師を招いた教職員向け研修会を開催します。

体力向上については、体育エキスパート教員によるスポーツへの興味・関心や運動意欲を高める取組を、教職員研修会の実施や巡回指導を通じて市内全体に広げ、授業改善を進めます。また、陸上教室やアダプテッドスポーツの実施など社会教育との連携による運動の機会を創出します。

特別支援教育については、教育支援委員会議による教育相談により、一人ひとりの障がいの状況に応じたきめ細かなニーズを把握しながら、個別の「指導計画」「教育

支援計画」を活用し、福祉部局と連携して幼児期から一貫した支援を行うほか、市内における通級指導教室の拡充を推進します。

幼小接続や小中連携を含む校種間連携については、子どもの育ちと学びをつなぐため、市内の幼稚園、保育所、小学校、中学校間の連携体制を強化します。具体的には、5歳児から小学校1年生の2年間をつなぐ「架け橋期のカリキュラム」の作成に向けた取組を推進します。また、義務教育の9年間において、児童生徒が主体的に学び続けられるよう、中学校区内の小・中学校が校種間の学びのつながりを意識した授業づくりを行うなど、教育内容や指導方法を工夫する取組を支援します。

育ちと学びを支える教育環境の整備を進めます

地域と学校の連携・協働については、地域ぐるみで子どもたちの豊かな成長を支えるため、コミュニティ・スクールにおいて、各中学校区ごとの学校運営協議会の活動の支援と、地域ボランティアの方による学習支援事業を実施します。

部活動の地域展開については、拠点校部活動や休日の部活動における外部指導者の活用などに取り組むほか、学校、保護者、市内関係団体等との情報共有、種目ごとの協議等を経て、地域の活動へ展開するための準備を進めます。

教職員の働き方改革については、「教職員業務改善推進プラン」に基づき、学校と保護者の連絡用アプリケーションなどICTの活用による校務効率化や、押印の見直しなど事務の効率化、部活動の地域展開の推進などにより、教職員の負担軽減や長時間勤務の解消に努めます。

小・中学校の適正配置については、保護者や地域住民の意見を踏まえながら、現行の「第2期 滝川市小・中学校適正配置計画」の見直しを行います。また、見直しを踏まえ、滝川第一小学校の建替について、基本計画の策定に着手します。

市内の高等学校の適正規模については、北海道教育委員会が策定する公立高等学校配置計画を踏まえ、市民会議において関係者の意見を取りまとめ、検討します。

学校施設改修については、引き続き、施設の安全点検を定期的に行うとともに、主な大規模改修として、江陵中学校及び滝川西高等学校において、照明器具のLED化工事を実施します。

学校給食については、給食提供体制の効率化のため、自校調理方式である江部乙小学校の給食調理を、西小学校共同調理場を親とした親子方式へ変更します。

ICT教育環境については、GIGAスクール構想において整備した児童生徒用端末を全て更新するとともに、今後、学習用途のネットワーク通信量のさらなる増加が見込まれるため、同時に多数の児童生徒がアクセスしても支障が生じないよう、校内ネットワーク通信環境の改善を行います。

滝川西高等学校の教育の充実を進めます

英語教育・国際理解教育については、引き続き2名の外国語指導助手（ALT）を配置し、日常英会話を始めとしたコミュニケーション能力の向上を図るとともに、姉妹校であるアメリカ・ロングメドー高校や交流提携校であるスウェーデン・ヴィトフ

エルス力高校との交流事業を実施し、グローバル社会に適應できる人材を育成します。

キャリア教育については、生徒が主体的に課題を選択し、情報収集や研究活動で探究を深める「課題研究」を通して、将来に役立つスキルや思考力を養うほか、インターンシップによる職業体験の実施や地元企業の魅力やSDGsの取組を学び、地域での就職に結びつける「地元企業ガイダンス」を開催するなど、生徒が希望する進路の実現を図ります。

() 社会教育について

青少年の健全育成事業を充実させます

地域の力を利用して子どもたちの「生きる力」を育むため、青少年育成会が取り組む、自然やスポーツ、産業など各地域の特徴を生かした体験事業を支援します。

子どもたちのインターネットトラブルを未然に防ぐため、小・中学校と連携した取組に加え、乳幼児から就学時までの保護者を対象とした講話、テキストなどの啓発資料の発行など、地域や企業、学校と連携を図りながら、年齢や環境に合わせた情報モラル教育を強化します。

生涯学び、豊かな心を育む社会教育環境を充実させます

文化芸術活動の振興については、ノウハウとネットワークを有する地域おこし協力隊員を採用し、市内文化団体への支援や担い手の育成、文化芸術に関する鑑賞や体験事業に取り組みます。

子どもたちが身近に文化芸術と触れる機会として、学校にプロの演奏家や、伝統芸能活動を行っている市民団体を派遣し、鑑賞や演奏体験等を行うアウトリーチ事業を実施します。

市民の自主的な文化芸術活動と交流を支援するため、滝川市民交流プラザの機能を引き続き維持するとともに、空知管内の公共ホールを利用した場合の施設使用料等を一部助成する「空知管内公共ホール使用料等補助金」を継続します。

美術自然史館については、収蔵する美術作品や市民の作品等を鑑賞できる機会を提供するほか、市内の教育機関など地域と密着した企画展を開催し、市民の芸術文化活動を支えます。

また、特別展「戦後80年 たしかわ戦争の記憶」では、戦時下のまちの様子を記録した写真や資料等を展示するなど、当時の滝川を振り返り、戦後80年の平和について考える機会を創出します。

こども科学館については、子どもたちの知的好奇心を満たす「月イチリカ室」の開催のほか、学芸員や指導員によるモノづくり体験や科学実験、郷土学習の出前講座「おでかけミュージアム」を継続的に実施し、子どもも大人も「楽しみながら学ぶ環境」づくりを推進します。

STEAM教育の一環として、新しい海洋センターにおいて、子どもたちの創造力や論理的思考を育成するため、教育機関や民間企業と連携し、教科等横断的かつ探究的な学習となる「ものづくり体験」や「プログラミング」などの学習プログラムをこ

ども科学館で試行し、検証を行います。

図書館については、「生きる力を育む『たきかわっ子』ワクワクまなびプログラム」を通じて、子どもたちの主体的かつ探究的な学習を支援するための図書の充実を図るほか、郷土の魅力を伝え、地域を支える人材を育成するため、社会教育施設や地域の企業、団体と連携し、職業体験を交えた「調べる学習体験講座」を開催します。

また、郷土の歴史や文化を伝承するため、展示「写真でふり返る～ふるさとあの場所、いま・むかし～」を開催し、ふるさと滝川の発展や変遷を学ぶ郷土学習に取り組みます。

スポーツを通じた豊かな心身の育成を図ります

スポーツの振興については、障がいの有無や性別、年齢を超えて、すべての人がスポーツや文化を共有できるアダプテッドスポーツの出前講座を継続実施し、共生社会に対する意識の向上を図ります。

石狩川河川敷パークゴルフ場については、災害対策を踏まえ、撤去及び復旧作業を速やかに行うことができる管理棟及びトイレに更新します。

教育委員会といたしましては、ふるさと滝川の未来の創り手となる「たきかわっ子」の育成と、自ら学び成長を続ける生涯学習の環境づくりに取り組み、市民一人ひとりが郷土の歴史と文化に誇りと愛着をもち、心豊かに暮らすことができるよう各種教育施策の充実に努めてまいります。

以上、令和7年度の教育行政執行方針を申し上げました。

市民の皆様の一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

滝川市教育推進計画（第3期 令和5年度～令和9年度）概要版 ～教育のまち滝川 未来を拓く「たきかわっ子」の育成～



I 我が国の教育をめぐる現状と課題

- ・2040年以降の社会を見据え、社会の課題や変化に対応した人材の育成と自ら社会を創り出していく視点が必要
- ・幸福や生きがい捉える「ウェルビーイング」の考え方が重視され、個々の幸せや生きがいの実現に向けた教育の実践が求められる

II 滝川市における現状と課題

(1) 学校教育

- | | |
|----------------|-------------------------|
| ①GIGAスクール構想の進展 | ⑦教職員の働き方改革 |
| ②児童生徒の学力向上 | ⑧部活動の地域移行 |
| ③児童生徒の体力向上 | ⑨学校施設の老朽化への対応 |
| ④特別支援教育の充実 | ⑩児童生徒数減少に伴う小・中学校の適正配置 |
| ⑤不登校児童生徒の増加 | ⑪生徒数減少時代における魅力ある高等学校づくり |
| ⑥いじめ防止対策の充実 | ⑫キャリア教育の充実 |

(2) 社会教育

- | | |
|-----------------------------|-----------------------|
| ①人生100年時代を見据えた
生涯学習活動の推進 | ③ライフステージに応じたスポーツ活動の推進 |
| ②生涯を通じた文化芸術活動の推進 | ④持続可能な社会教育施設の運営 |
| | ⑤生涯学習及び情報拠点としての図書館の充実 |



III 基本理念

『未来を切り拓く自立型人材の育成』
…自己決定ができる人材の育成

『誰もが学び続けることができる共生社会の実現』
…市民が学び続けることができる共生社会

IV 重点方針

1. 確かな学力の育成
2. 豊かな心の育成
3. 健やかな体の育成
4. 生涯学習の推進
5. 教育DXの推進

V 基本目標と主な施策

1 確かな学力の育成 幅広い知識と教養・専門的能力・職業実践力の育成

- ①授業改善 ②ICTを効果的に活用することによる学びの質の向上 ③外国語教育の充実
- ④家庭学習の定着と充実 ⑤キャリア教育の推進 ⑥学校サポート事業の推進
- ⑦教職員研修の充実 ⑧幼・保・小連携の充実

2 豊かな心の育成

- ①道徳教育の充実 ②いじめ防止対策の充実 ③体験活動の充実 ④読書活動の充実
- ⑤地域の歴史や文化等に関する教育の推進 ⑥文化芸術等による子どもの豊かな心の育成
- ⑦情報モラル教育の推進 ⑧子どもの権利利益の擁護

3 健やかな体の育成 スポーツを通じた豊かな心身の育成

- ①学校保健活動の充実 ②学校給食、食育活動の充実
- ③学校や地域における子どものスポーツ機会の充実

4 多様な教育ニーズへの対応と社会的包摂

- ①特別支援教育の推進 ②不登校児童生徒へ対応
- ③学校教育における福祉関係機関等との連携強化
- ④地域の教育資源の活用 ⑤ヤングケアラー等の対応

5 主体的に社会の形成に参画する態度の育成・規範意識の醸成

- ①主権者教育・消費者教育等の推進 ②持続可能な開発のための教育(ESD)・環境教育等の推進
- ③男女共同参画の推進 ④子どもの意見表明

6 グローバル社会における人材育成

- ①英語を中心とした外国語教育の強化
- ②滝川西高等学校における外国語能力の育成

7 高等学校の教育課程における人材の育成

- ①「主体的・対話的で、深い学び」の授業の充実 ②生活指導の充実
- ③進路指導の充実 ④健康・安全指導の充実

- ①STEAM教育の実践 ②滝川西高等学校における専門教育の充実
- ③社会人が働きながら学べる学習環境の整備 ④経済的な支援の活用促進

- ①生涯学習活動の推進 ②生涯学習活動を支援する読書環境の整備
- ③國學院大學北海道短期大学部との連携強化

- ①家庭の教育力の向上 ②コミュニティ・スクール事業の推進 ③スマートフォン等への対応
- ④子どもの読書活動の充実 ⑤部活動の地域移行

- ①情報活用能力の育成 ②各教科等の指導におけるICT活用の促進
- ③校務のICT化による教職員の業務負担軽減及び教育の質の向上
- ④生涯学習分野のデジタル活用の推進

- ①教職員の指導体制・指導環境の整備 ②教職員の働き方改革の推進
- ③これからの学校教育を担う教師の資質能力の向上

- ①企業との連携による学びの推進 ②地域文化活動の振興 ③スポーツ活動の推進
- ④部活動の地域移行 ⑤情報拠点としての図書館の充実
- ⑥いじめ対応における警察や関係機関との連携強化

- ①安全・安心で質の高い学校施設等の整備の推進
- ②持続可能な社会教育施設の整備・運営の検討

- ①学校安全の推進 ②学校施設老朽化への対応

～ も く じ ～

○滝川市民憲章

○令和7年度教育行政執行方針

○滝川市教育推進計画（第3期 令和5年度～令和9年度）概要版

I 教育行財政

1	教育委員会	1
2	歴代教育長及び教育委員	1
3	教育委員会事務局組織等機構図	3
4	滝川市の教育の歩み	4
5	予算の概要	10

II 学校教育

1	学校教育の充実	11
	確かな学力と知識・教養、職業実践力の育成	11
	豊かな心と健やかな体の育成	11
	多様な教育ニーズへの対応	12
	教育環境の整備	12
	滝川西高等学校の教育の充実	13
2	幼児教育	14
3	義務教育	15
	小学校	15
	中学校	18
	中学生の進路状況	20
	小・中学校の児童生徒数及び学級数	20
	児童生徒数の推移	21
	通級指導教室事業	21
	適応指導教室事業	21
	特別な支援を要する児童生徒の就学状況	22
	学校給食	23
4	高等学校教育	24
5	専修学校・大学教育	25

III 社会教育

1	社会教育	26
	家庭教育の支援	26
	青少年の健全育成	26
	生涯学習活動の推進	27
	社会教育施設の概要	27

2	芸術文化	28
	市民による文化芸術活動の支援	28
	優れた芸術鑑賞機会の提供	28
	地域おこし協力隊による文化芸術活動の活性化	28
	文化施設等の整備	29
	陶芸センターの振興	29
	文化施設の概要	29
3	スポーツ	30
	体育指導及び振興	30
	体育施設の整備	30
	スポーツ施設の概要	31
4	図書館	34
	地域の情報・生涯学習拠点事業	34
	連携事業	35
	こどもの読書普及事業	36
	生きる力を育むたきかわっ子ワクワクまなびプログラム	37
	なかそらち図書館ネットワーク推進事業	38
	図書館の概要	39
5	博物館	40
	美術自然史館事業	40
	こども科学館事業	41
	郷土館事業	41
	文化財保護・活用事業	42
	博物館の概要	42

Ⅳ その他

1	空知教育センター組合	43
2	一般財団法人 滝川生涯学習振興会	44
3	滝川市文化連盟	45
4	一般財団法人 滝川市スポーツ協会	46

Ⅴ 資料編

1	各種審議会等	47
	滝川市いじめ防止専門委員会	47
	滝川市いじめ問題対策連絡協議会	47
	滝川市教育支援委員会議	48
	滝川市社会教育委員会議	48
	滝川市文化財保護審議会	49
	滝川市スポーツ推進委員	49
2	教育関係団体等一覧	50
3	芸術文化団体一覧	51

4	スポーツ団体一覧	52
5	滝川市の文化財	53

- 健康都市宣言
- 環境都市宣言
- 平和都市宣言

I 教育行財政

1 教育委員会

職 名	氏 名	就 任 日	任 期 等
教 育 長	田中 嘉樹	令和 3 年 6 月 27 日	令和 6 年 6 月 27 日 ~ 令和 9 年 6 月 26 日 2 期目
職務代理者	春田 淳一	令和 5 年 6 月 27 日	令和 5 年 6 月 27 日 ~ 令和 9 年 6 月 26 日 1 期目
教育委員	木曾 旬映	令和 3 年 5 月 14 日	令和 7 年 5 月 14 日 ~ 令和 11 年 5 月 13 日 2 期目
教育委員	種田 貴志子	令和 4 年 5 月 28 日	令和 4 年 5 月 28 日 ~ 令和 8 年 5 月 27 日 1 期目
教育委員	上野 恭敬	令和 6 年 5 月 24 日	令和 6 年 5 月 24 日 ~ 令和 10 年 5 月 23 日 1 期目

2 歴代教育長及び教育委員 (昭和46年4月1日合併以降)

氏 名	在 任 期 間	備 考	(委員長在任期間)
中川 正	昭和46年 4 月 1 日 ~ 昭和47年 5 月 23 日	委員長	昭和46年 4 月 1 日 ~ 昭和47年 5 月 23 日
堀田 武司	昭和46年 4 月 1 日 ~ 昭和50年 5 月 12 日	委員長	昭和47年 5 月 29 日 ~ 昭和50年 5 月 12 日
岡本 義雄	昭和46年 4 月 1 日 ~ 昭和50年 5 月 12 日	教育長	
畑原 喜之助	昭和46年 4 月 1 日 ~ 昭和48年 5 月 13 日		
田中 正雄	昭和46年 4 月 1 日 ~ 昭和54年 8 月 26 日		
渡邊 恭久	昭和47年 5 月 24 日 ~ 昭和63年 5 月 23 日	委員長	昭和62年 5 月 13 日 ~ 昭和63年 5 月 12 日
山本 義郎	昭和48年 5 月 14 日 ~ 昭和52年 5 月 13 日		
猪口 英之助	昭和50年 5 月 13 日 ~ 昭和58年 5 月 12 日	委員長	昭和50年 5 月 13 日 ~ 昭和58年 5 月 12 日
網淵 正幸	昭和50年 5 月 13 日 ~ 昭和62年 5 月 12 日	教育長	
三栗 自然	昭和52年 5 月 14 日 ~ 平成 5 年 5 月 13 日		
千葉 武幸	昭和54年 9 月 14 日 ~ 昭和58年 1 月 19 日		
山口 貞明	昭和58年 1 月 20 日 ~ 平成 2 年 5 月 12 日		
樋口 昭二	昭和58年 5 月 13 日 ~ 平成11年 5 月 12 日	委員長	昭和58年 5 月 13 日 ~ 昭和62年 5 月 12 日 昭和63年 5 月 13 日 ~ 平成11年 5 月 12 日
本間 茂	昭和62年 5 月 13 日 ~ 平成11年 5 月 12 日	教育長	
高野 トシ	昭和63年 5 月 24 日 ~ 平成12年 5 月 23 日	委員長	平成11年 5 月 28 日 ~ 平成12年 5 月 23 日
小出 孝	平成 2 年 5 月 28 日 ~ 平成14年 5 月 27 日	委員長	平成12年 5 月 24 日 ~ 平成14年 5 月 23 日
木村 耀子	平成 5 年 5 月 14 日 ~ 平成17年 5 月 13 日		
安西 輝恭	平成11年 5 月 13 日 ~ 平成18年10月14日	教育長	

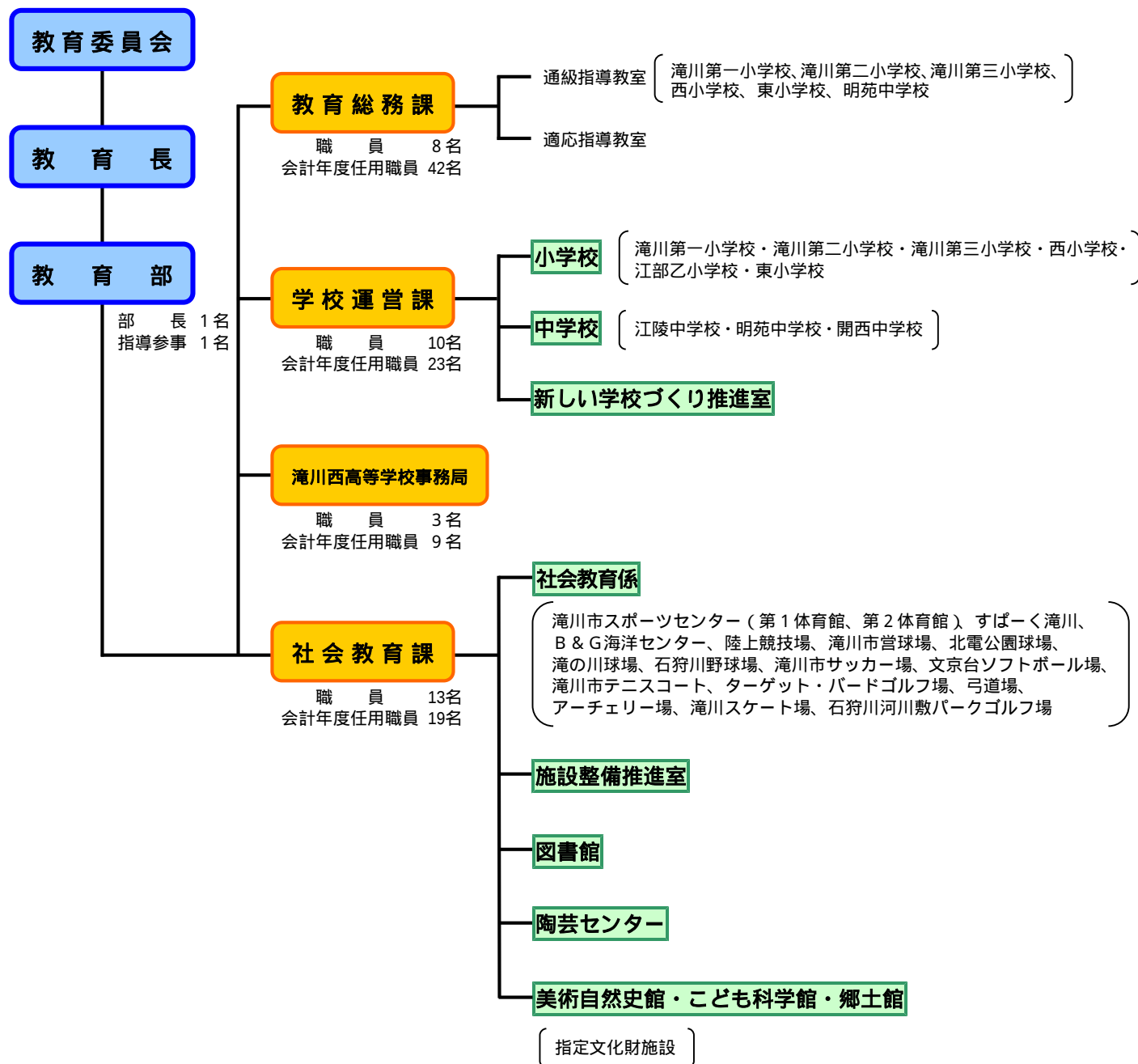
氏 名	在 任 期 間	備 考	(委員長在任期間)
了輪 隆	平成11年 5 月13日 ~ 平成18年10月16日	委員長	平成14年 5 月28日 ~ 平成18年10月16日
上田 英二	平成18年12月20日 ~ 平成19年 5 月12日		
高谷 富士雄	平成14年 5 月28日 ~ 平成19年 9 月30日		
中山 公子	平成12年 5 月24日 ~ 平成20年 5 月23日	委員長	平成18年12月21日 ~ 平成20年 5 月23日
篠島 恵里子	平成17年 5 月14日 ~ 平成25年 5 月13日		
鷲尾 昌法	平成19年10月 1 日 ~ 平成26年 5 月27日		
若松 重義	平成19年 6 月27日 ~ 平成27年 6 月26日	委員長	平成20年 5 月26日 ~ 平成27年 6 月26日
小田 真人	平成19年 6 月27日 ~ 平成27年 6 月26日	教育長	
野地 和英	平成20年 5 月24日 ~ 平成28年 5 月23日		
朝日 幸世	平成25年 5 月14日 ~ 令和 3 年 5 月13日		
山崎 猛	平成27年 6 月27日 ~ 令和 3 年 6 月26日	教育長	
芳村 敦子	平成26年 5 月28日 ~ 令和 4 年 5 月27日		
田代 雄一	平成27年 6 月27日 ~ 令和 5 年 6 月26日		
蜂矢 忠昭	平成28年 5 月24日 ~ 令和 6 年 5 月23日		

平成26年、地方教育行政法の改正により、教育委員長と教育長を一本化した新教育長が置かれた。

3

教育委員会事務局組織等機構図

(令和7年5月1日現在)



4

滝川市の教育の歩み

年 月	で き ご と
明治 23 年 1 月	北海道庁令第 1 号をもって滝川村設置 滝川村戸長役場が開庁
12 月	屯田兵村に私立南・北小学校開校
25 年 11 月	私立南・北小学校を統合し、私立滝川小学校開校（滝川第二小前身）
26 年 11 月	公立空知尋常小学校開校（滝川第一小前身）
27 年 10 月	公立滝川北尋常高等小学校開校（北辰小前身）
28 年 1 月	私立滝川小学校を公立滝川尋常高等小学校に移管
29 年 12 月	公立滝川北尋常高等小学校を公立北辰尋常高等小学校と改称
39 年 4 月	滝川村に二級町村制を施行され、初代村長が任命
5 月	第 1 回村会議員選挙
40 年 4 月	滝川尋常高等小学校幌倉特別教授所設置（東栄小前身）
41 年 5 月	空知尋常高等小学校分教場設置
6 月	幌倉特別教授所を滝川尋常高等小学校幌倉分教場と改称
42 年 4 月	滝川村より江部乙分村
12 月	空知尋常高等小学校を滝川第一尋常高等小学校と、滝川尋常高等小学校を滝川第二尋常高等小学校と、 幌倉分教場を滝川第二尋常小学校幌倉分教場とそれぞれ改称 滝川第一尋常高等小学校空知太分教場設置（滝川第三小前身）
43 年 11 月	滝川町制施行
大正 4 年 9 月	江部乙第二尋常小学校開校（東陽小前身）
7 年 4 月	滝川第一尋常高等小学校空知太分教場を独立させ滝川第三尋常小学校開校
9 年 4 月	庁立滝川中学校開校（滝川工業高校前身）
6 月	北辰尋常小学校熊之沢分教場開校
11 年 4 月	滝川第二尋常小学校幌倉分教場を独立させ、滝川第四尋常小学校開校
昭和 4 年 5 月	町立滝川高等女学校開校（滝川高校前身）
6 年 4 月	町立滝川高等女学校を庁立に移管
10 年 8 月	青年学校開校
14 年 4 月	青年学校義務制実施（昭和22年廃止）
15 年 10 月	開町50周年記念式挙行
16 年 4 月	町民学校令により各小学校を国民学校、熊之沢分教場を旭沢分教場と改称（旭沢小前身）
17 年 4 月	町立夜間中学校開校（庁立滝川中内）
21 年 4 月	江部乙村立北辰農業学校開校（滝川北高校前身）
22 年 5 月	学制改革により国民学校を小学校と中学校に分離 第一中学校（第一小内）、第二中学校（第三小内）、第一中学校分校（第二小内）、第二中学校分校（第四小内）、北辰中学校（北辰小内）、北辰中学校東陽分校（東陽小内）開校
23 年 1 月	第二中学校を第三中学校に校名変更 第一中学校二の坂分校を第二中学校（第二小内）、第二中学校幌倉分校を第四中学校（第四小内）とする
4 月	滝川第一小学校滝泉台分校開校（西小前身） 学制改革により庁立滝川中学校は道立滝川高等学校、庁立滝川高女は道立滝川女子高等学校、 町立中学校は道立滝川高等学校夜間課程、村立北辰農業学校は村立江部乙農業高等学校と改称
24 年 4 月	東陽中学校開校
8 月	町営滝川球場オープン
11 月	旭沢分教場を独立させ、旭沢小学校開校（昭和47年閉校）
25 年 4 月	道立滝川高等学校は道立滝川西高等学校、道立滝川女子高等学校は道立滝川東高等学校と改称
7 月	村立江部乙農業高等学校は村立江部乙高等学校と改称

年 月	で き ご と
昭和 26 年 4 月	第一中学校と第二中学校を併合して江陵中学校、第三中学校を明苑中学校、第四中学校を東栄中学校と改称
27 年 4 月	第四小学校を東栄小学校と改称 江部乙町制施行 空知教育研究所開設（江陵中学校内）
11 月	滝川町・江部乙町各教育委員会設置 道立滝川東高等学校幌倉分校独立
28 年 4 月	道立滝川東高等学校幌倉分校を北海道滝川東栄高等学校に改称（昭和41年閉校） 北辰小学校南・北分校開校
5 月	滝川幼稚園開園（願成寺内）
29 年 4 月	道立滝川東高等学校を滝川高等学校、道立滝川西高等学校を滝川工業高等学校と改称
31 年 4 月	滝川第一小学校滝泉台分教場を廃止し西小学校開校
32 年 4 月	町立江部乙高等学校を道に移管
33 年 7 月	滝川市制施行
34 年 4 月	今野学園滝川商業高等学校開校
37 年 4 月	開西中学校開校
7 月	中央児童センター開館
38 年 10 月	私立えべおつ幼稚園開園
43 年 2 月	滝川市の木「プラタナス」、花「ツツジ」を制定
4 月	空知教育研修センター組合設立
44 年 3 月	白樺幼稚園開園
4 月	北辰中学校と東陽中学校を統合し、江部乙中学校開校 滝川高等看護学院開設
45 年 9 月	市民憲章制定
46 年 4 月	滝川市、江部乙町合併による新市制施行 青年体育センターオープン
47 年 6 月	滝の川運動公園内に市営球場オープン
48 年 3 月	私立滝川商業高等学校閉校により市に移管
4 月	北海道滝川西高等学校開校
6 月	文化センター、図書館開館
49 年 8 月	図書館が巡回文庫（すずかけ号）開始
9 月	陸上競技場オープン
50 年 4 月	北辰小学校、北辰小学校南分校、北辰小学校北分校及び東陽小学校を統合し江部乙小学校開校
51 年 4 月	滝川第三小学校に言語治療教室開設
52 年 4 月	おおぞら幼稚園開園 滝川西高等学校が商業科6間口を普通科2間口、商業科4間口へ学科転換
6 月	郷土館開館
11 月	自然の家開館
53 年 4 月	江部乙高等学校を北海道滝川北高等学校と改称
6 月	陶芸センター開所
8 月	東小学校開校 朝日町児童館開館
54 年 3 月	滝川スポーツセンターオープン
4 月	北滝の川児童館開館
55 年 4 月	明苑中学校と東栄中学校の統合による明苑中学校開校
8 月	空知川にて海牛化石を発見し発掘
9 月	郷土館分館「華月館」開館
12 月	花月町児童館及び中央公民館花月分館開館
56 年 3 月	滝川工業高等学校定時制課程閉課
4 月	中央公民館・働く婦人の家（総合福祉センター内）開館
9 月	屯田兵屋復元完成
12 月	東地区公民館開館（現音楽公民館） 泉町児童館開館

年 月	で き ご と
昭和 57 年 4 月	栃木市との友好親善都市提携盟約 國學院女子短期大学開学 みずほ幼稚園開園 東滝川児童館開館
6 月	牧羊用サイロ移転復元
8 月	滝川滑空場オープン
11 月	教育委員会設置30周年並びに市立学校不燃化達成記念式挙行
12 月	学習等供用施設（中央児童センター）開館 西地区公民館・児童センター開館 空知太スキー場オープン
58 年 4 月	滝川西高等学校が普通科2間口増となる（4間口）
7 月	市制施行25周年記念式挙行 航空科学館開館
10 月	航空科学研修センター開館
11 月	北地区公民館・児童センター開館
59 年 3 月	タキカワカイギウ化石標本が北海道指定の天然記念物に決定
4 月	サイクリングターミナルオープン
9 月	空知川河川敷ゲートボール場オープン
10 月	大町児童館開館
11 月	中地区公民館・児童センター開館
60 年 4 月	滝川市生涯学習振興会発足
11 月	温水プールオープン
12 月	江部乙公民館・児童館開館
61 年 9 月	美術自然史館開館
11 月	緑地区公民館・児童館開館
62 年 12 月	東地区公民館・児童館開館
63 年 1 月	滝川市の花として「コスモス」を追加制定
7 月	市制施行30周年記念式挙行
8 月	第70回全国高等学校野球選手権大会に滝川西高等学校が初出場
平成 元 年 4 月	健康都市宣言
12 月	大町地区児童センター開館
2 年 4 月	西地区公民館分館開館
7 月	滝川市開基百年記念式挙行 沖縄県名護市との友好親善都市提携
9 月	川の科学館開館
12 月	本町地区公民館・児童センター開館
3 年 2 月	開基百年記念塔オープン
3 月	こども科学館開館
4 月	國學院女子短期大学から國學院短期大学に校名変更し、男女共学化
4 年 3 月	ゲートボール場（スパーク滝川）開館
5 年 4 月	黄金町児童館開館 滝川西高等学校が商業科4間口を会計ビジネス科2間口、情報ビジネス科2間口に学科転換 通級指導教室を滝川第三小学校に開設
7 月	航空動態博物館開館
8 月	アメリカ合衆国 マサチューセッツ州スプリングフィールド市との姉妹都市提携を調印
12 月	川の科学館を、（財）石狩川振興財団に移管 扇町児童館開館
6 年 3 月	第66回選抜高等学校野球大会に滝川西高等学校が推薦を受け出場
7 月	B & G海洋センターオープン
11 月	岩橋英遠氏が文化勲章を受章

年 月	で き ご と
平成 7 年 3 月	滝川西高等学校が商業科を学科転換により閉科
4 月	滝川西高等学校の普通科 1 間口減（3 間口）とした
7 月	適応指導教室を中央児童センターに開設
10 年 3 月	自然の家閉館 北滝の川児童館は統廃合により閉館 緑地区児童館は統廃合により閉館
8 月	第80回全国高等学校野球選手権記念大会に滝川西高等学校が出場
11 年 3 月	私立えべおつ幼稚園閉園
4 月	勤労青少年ホーム（体育センター）と働く婦人の家が、社会教育部所管となる
12 年 3 月	泉町児童館は統廃合により閉館 本町地区児童館は統廃合により閉館 北海道滝川北高等学校閉校
13 年 2 月	滝川西高等学校がアメリカ・マサチューセッツ州スプリングフィールド工科高等学校と姉妹校提携調印
3 月	旧北海道滝川北高等学校校舎等を北海道教育委員会より譲与
4 月	江部乙中学校は江部乙町1118番地 1 に移転（旧北海道滝川北高等学校校舎） 江部乙共同調理場開設
6 月	市立中学校にスクールカウンセラー配置
14 年 1 月	市立小中高等学校インターネット・イントラネット開通
15 年 1 月	環境都市宣言
6 月	滝の川市民プール水夢オープン 森のかがく活動センターオープン
12 月	滝川西高等学校がスプリングフィールド工科高校と短期留学生相互派遣事業を開始 （～平成17年13月）
16 年 1 月	滝川西高等学校が國學院短期大学と高大連携を調印
4 月	航空科学館その他航空関連施設を市長部局に移管
18 年 1 月	中央公民館花月分館閉館
3 月	空知教育研修センター組合を空知教育センター組合と改称
4 月	児童館を市長部局に移管
19 年 3 月	みずほ幼稚園閉園
4 月	市立小学校にスクールカウンセラー配置
7 月	市立小中高等学校に機械警備導入
10 月	滝川西高等学校がアメリカ・マサチューセッツ州ロングメドー高校と短期留学生相互派遣事業を開始
11 月	滝川市立小・中学校適正配置基本方針策定
20 年 4 月	市立小学校 3 学年35人学級実施
7 月	市制施行50年記念式挙行
10 月	アメリカ・マサチューセッツ州ロングメドー町教育委員会と滝川市、ロングメドー町教育交流促進 に関する覚書調印
21 年 4 月	滝川西高等学校にスクールカウンセラー配置 市立小学校 3、4 学年35人学級実施（学年数71人以上） 國學院短期大学から國學院大學北海道短期大学部へ校名変更
8 月	滝川西高等学校格技場棟の耐震改修工事完了
9 月	江部乙小学校、明苑中学校の耐震改修工事完了
22 年 2 月	滝川市小・中学校施設整備方針策定
3 月	おおぞら幼稚園閉園
4 月	市立小・中学校に学びサポーター配置
7 月	滝川開村120年記念式典挙行
11 月	滝川第一小学校、江部乙中学校の耐震改修工事完了 滝川市小・中学校適正配置計画策定
12 月	滝川市立開西中学校改築基本方針報告書策定
23 年 3 月	滝川市勤労青少年ホーム閉館 図書館の巡回文庫（プラタナス号）廃止

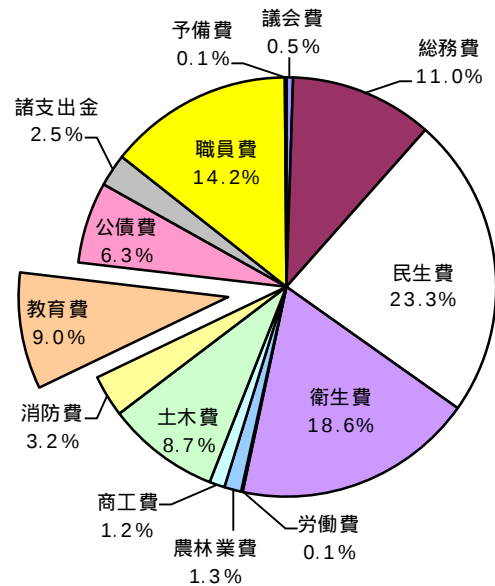
年 月	で き ご と
平成 23 年 4 月	通級指導教室「のびのび」を滝川第二小学校に開設 滝川市青年体育センター分館本町体育館開館 滝川市教育委員会が被災地の子供達に絵本を届けようプロジェクト実施
8 月	滝川市立滝川第三小学校改築検討市民会議報告書策定
11 月	新図書館市役所 2 階に移転開館
12 月	滝川市学校給食施設整備方針策定 市立小学校でフッ化物洗口開始
24 年 1 月	東小学校の耐震改修工事完了
2 月	國學院大學北海道短期大学部図書館と滝川市立図書館の相互協力に関する協定書調印
3 月	東栄小学校を東小学校に統合 滝川市教育推進計画（平成24年度～28年度）策定 滝川市学校給食施設整備計画策定 滝川市青年体育センター分館本町体育館閉館
4 月	滝川市温水プールを閉館し、無償譲渡（9月滝川スポーツクラブサンテオープン） 通級指導教室を明苑中学校に開設
8 月	滝川市教育支援センターオープン 空知教育センター、学校適応指導教室を滝川市教育支援センターに移転 外国語指導助手（ALT）を5名体制とし、中学校を本務校に配置替
25 年 3 月	北海道人造石油株式会社滝川工場関係資料が公益社団法人日本化学会より化学遺産として認定
4 月	地区公民館をくらし支援課に移管 市立小学校3、4学年35人学級完全実施 図書館が子どもの読書活動優秀実践図書館文部科学大臣表彰受賞
5 月	文京台ソフトボール場（2面）オープン（空知川ソフトボール場閉鎖）
7 月	森のかがく活動センター閉館 江部乙市民プール閉鎖
8 月	開西中学校校舎等改築大規模改修工事完了
11 月	開西中学校新校舎落成式举行
26 年 3 月	滝川市子どもの読書活動推進計画（平成26年度～30年度）策定 滝川市総合福祉センターを閉館
4 月	通級指導教室を西小学校に開設 滝川市子どものいじめの防止等に関する条例施行
27 年 3 月	滝川第三小学校校舎等改築工事完了
4 月	滝川市就学指導委員会を滝川市教育支援委員会に名称変更 滝川第三小学校共同調理場開設 学校給食費の公会計化
7 月	滝川西高等学校がアメリカ・マサチューセッツ州ロングメドール高等学校と姉妹校提携調印
8 月	滝川西高等学校に外国語指導助手（ALT）を2名配置
10 月	滝川第三小学校新校舎落成式举行
28 年 1 月	滝川市小・中学校施設整備方針策定 滝川市小・中学校適正配置計画策定
3 月	江陵中学校武道場改築工事完了 江陵中学校耐震改修工事完了 西小学校共同調理場等増築工事完了 滝川市スポーツセンター第2体育館耐震等改修工事完了 東栄市民プール閉鎖 滝川屯田兵文書（第二大隊第三中隊・第四中隊文書）が北海道有形文化財に指定 滝川市B＆G海洋センター改修工事（桟橋及びトイレ改修工事）完了
4 月	平和都市宣言
6 月	滝川市B＆G海洋センターリニューアルオープン式典・舟艇器材贈呈式举行
8 月	西小学校共同調理場開設
11 月	滝川西高等学校がスウェーデン・ヴィトフェルスカ高等学校と交換留学協定調印

年 月	で き ご と
平成 29 年 1 月	第2期滝川市教育推進計画(平成29年度～令和3年度)策定
3 月	滝川市スポーツセンター第1体育館耐震等改修工事完了 西公園パークゴルフ場を廃止
4 月	滝川市スポーツセンター第1体育館リニューアルオープン式典举行
5 月	滝川市石狩川河川敷パークゴルフ場仮オープン(3コース27ホール)
6 月	滝川西高等学校がスウェーデン・ヴィトフェルスカ高等学校と短期留学生相互派遣事業を開始
7 月	滝川市石狩川河川敷パークゴルフ場グラウンドオープン(8コース72ホール)
8 月	第99回全国高等学校野球選手権大会に滝川西高等学校が出場
30 年 4 月	滝川西高等学校が職業学科を会計ビジネス科2間口・情報ビジネス科2間口から、情報マネジメント科3間口に学科転換(1間口減)
8 月	外国語指導助手(ALT)を1名増員(小・中学校6名体制)
11 月	学校における働き方改革 教職員業務改善推進プラン策定
12 月	滝川市美術自然史館、こども科学館冬季休館を実施開始(12月～2月)
31 年 1 月	市立中学校でフッ化物洗口開始
3 月	第2次滝川市子どもの読書活動推進計画(2019年～2023年)策定
4 月	コミュニティ・スクール(学校運営協議会)を導入
令和 元 年 10 月	アルゼンチン共和国パラリンピック委員会と東京2020パラリンピック競技大会滝川合宿に関する定協書を締結
2 年 2 月	図書館が第23回図書館を使った調べる学習コンクール図書館を使った調べる学習活動賞を受賞
8 月	学校給食調理業務等の業務委託を開始した
12 月	農村環境改善センターに岩橋英遠コーナー、あーと&ひすとーりーぼっくす(構成 美術自然史館)、えべおつ出合いの森(構成 図書館)を設置した
3 年 1 月	第2期滝川市小・中学校適正配置計画策定
3 月	市立小・中学校に高速大容量の通信環境及び学習者用端末を整備
6 月	新型コロナウイルス感染拡大により、アルゼンチン共和国パラリンピック委員会と協議の上東京2020パラリンピック競技大会滝川合宿の中止を決定
7 月	滝川市文化センター大ホールの利用休止
8 月	滝川市学校施設長寿命化計画策定 第2期滝川市教育推進計画の一部改訂(計画期間を1年延長し、令和4年度までとした)
9 月	東京2020パラリンピック競技大会において共生社会ホストタウン共同応援プロジェクト アルゼンチン×滝川市を実施 北海道人造石油株式会社滝川工場関係資料が国立科学博物館より重要科学技術史資料として登録
11 月	図書館がLibrary of the Year2021ライブラリアンシップ賞を受賞
4 年 3 月	江部乙中学校と江陵中学校の統合により、江部乙中学校を閉校 江部乙共同調理場閉鎖 滝川市文化センター閉館
4 月	滝川市民交流プラザオープン 滝川市テニスコートプレオープン(4面)
10 月	滝川西高等学校創立50周年記念式典举行
5 年 3 月	空知川パークゴルフ場廃止
4 月	第3期滝川市教育推進計画(令和5年度～令和9年度)策定 滝川市テニスコート全面供用開始(8面)
6 年 3 月	新たな海洋センター整備に関する基本構想策定 第3次滝川市子どもの読書活動推進計画(2024年～2028年)策定 滝川市立図書館開館50周年記念誌発行
4 月	滝の川市民プール水夢の利用休止 滝川西高等学校の制服を50年ぶりに変更し、新入生からブレザーを採用
7 年 3 月	滝川市新小学校整備基本構想策定 滝の川市民プール水夢閉鎖
4 月	高等学校DX加速化推進事業(DXハイスクール)採択校に決定
7 月	江部乙小学校給食室閉鎖

5 予算の概要

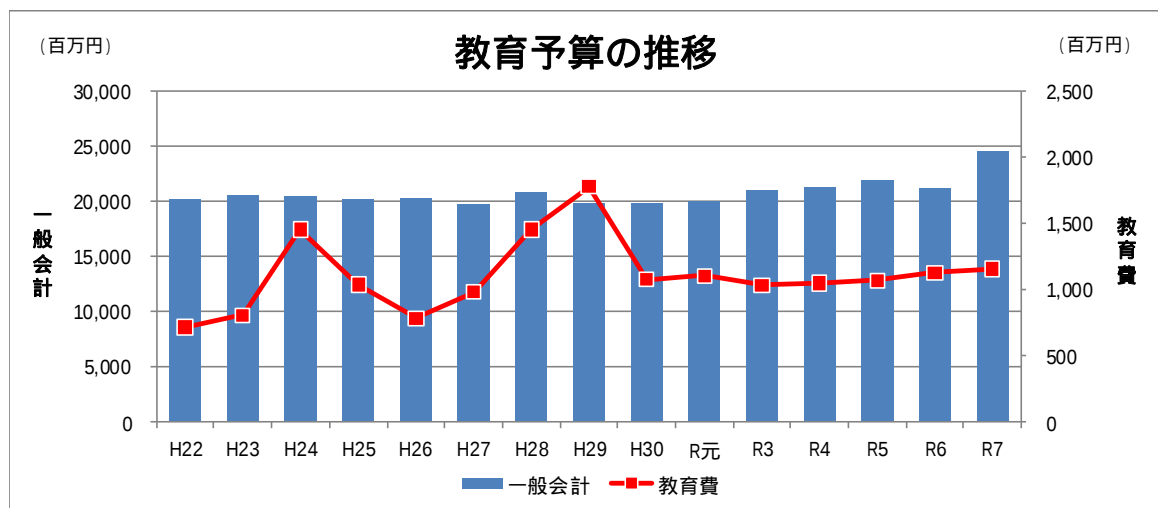
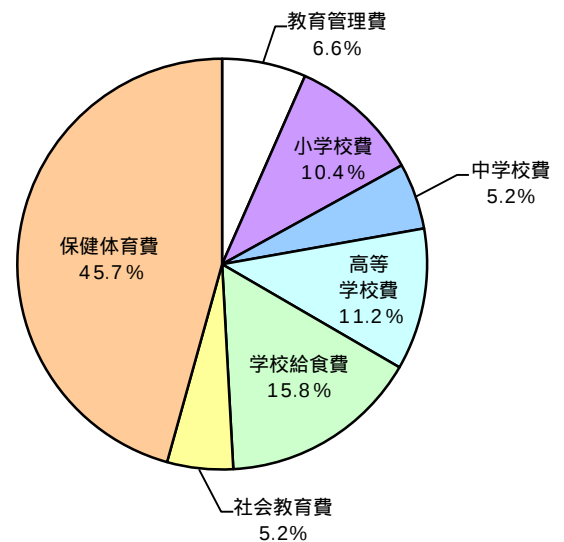
令和7年度一般会計予算の構成（人件費は職員費に含む）

区分	予算額（千円）	割合（％）
議会費	124,742	0.5%
総務費	2,706,499	11.0%
民生費	5,710,036	23.3%
衛生費	4,554,932	18.6%
労働費	27,104	0.1%
農林業費	321,537	1.3%
商工費	291,672	1.2%
土木費	2,137,813	8.7%
消防費	787,368	3.2%
教育費	2,205,197	9.0%
公債費	1,541,346	6.3%
諸支出金	614,268	2.5%
職員費	3,490,486	14.2%
予備費	30,000	0.1%
計	24,543,000	100.0%



令和7年度教育費の構成

区分	予算額（千円）	割合（％）
教育管理費	145,975	6.6%
小学校費	229,062	10.4%
中学校費	115,189	5.2%
高等学校費	245,905	11.2%
学校給食費	347,361	15.8%
社会教育費	114,555	5.2%
保健体育費	1,007,150	45.7%
計	2,205,197	100.0%



II 学校教育

1

学校教育の充実

確かな学力と知識・教養、職業実践力の育成

個別最適な学びと協働的な学びの一体化

- 小・中学校全校における「A Iドリル」の活用。
- 中学校区内の小・中学校が連携する校区一斉家庭学習週間の実施。
- 学びサポーターの配置による少人数・習熟度別指導の推進。
- 「ICT活用実践事例集」や「ICTスキル体系表」に基づいた児童生徒用端末の活用。
- 北海道教育委員会の「新しいかたちの学びの授業力向上推進事業」を滝川第三小学校と西小学校が主導し、他校への訪問や支援を行い、市内全体の学習環境向上を図る。

外国語教育の充実

- 外国語指導助手（ALT）による授業支援。
- ネイティブの外国語に触れる機会として、長期休業期間に個別学習「ALT英会話学習」を実施。
- 「英検ESG」や「英検IBA」を活用し、児童生徒の読む・書く・聞く・話すのバランスの取れた英語力の育成を図る。

キャリア教育

- 「総合的な学習の時間」において自ら課題を見つけ解決していく探究的な学習を取り入れ、自己の生き方を考えていくための資質・能力を育む。
- 実社会での職場体験活動を通じて、勤労観・職業観の醸成に努める。

幼・保・小・中の校種間連携の充実

- 5歳児から小学校1年生の2年間をつなぐ「架け橋期のカリキュラム」の作成に向けた取組を推進。
- 義務教育の9年間に於いて、中学校区内の小・中学校が校種間の学びのつながりを意識した授業づくりを行うなど、教育内容や指導方法を工夫する取組を支援。

豊かな心と健やかな体の育成

いじめの防止対策

- SNS上でのいじめが全国的に増加していることを踏まえ、各学校のいじめ対策組織を強化し、いじめ防止専門委員会やいじめ問題対策連絡協議会の専門的な知見も取り入れて未然防止に取り組むとともに、いじめ見逃しゼロを徹底し、早期発見・早期対応に努める。
- 子どもたちがいじめ問題を主体的に考えるための「絆づくり成果交流会」を開催し、児童会・生徒会によるいじめ撲滅に向けた活動を共有し、「いじめを絶対に許さない学校づくり」を支援する。
- 「スマホ安全教室」など情報モラル教育を小学校段階から計画的に実施し、安心・安全にインターネットを活用できるよう支援する。

体力向上対策

- 体育エキスパート教員による専門性を活かした指導のほか、スポーツへの興味関心や運動意欲を高める取組を、教職員研修会の実施や巡回指導を実践し、市内全体の授業改善。
- 陸上教室やアダプテッドスポーツの実施など社会教育と連携し、運動機会を創出。

道徳教育の推進

- 「先生が中心となり進めていく授業」から「考え、議論する道徳」への質的転換を図るため、外部講師による教職員を対象とした研修会を開催し、子どもたちの豊かな情操や道徳的実践力を育む。

多様な教育ニーズへの対応

不登校児童生徒への支援・対策

- 適応指導教室における学習指導や体験活動を通じて社会的自立を支援するとともに、各校に設けられた校内教育支援センターの運営を支援する。
- 対面でのコミュニケーションを苦手な児童生徒への支援として、オンラインでの学習などが可能な北海道教育委員会の「ほっかいどうメタ キャンパス」を活用。
- スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーと連携した組織的な早期支援を進め、心の小さな SOS を見逃さない取組を推進。
- オンラインでの教育相談ができる仕組みづくりなど、相談窓口の整備の検討。

特別支援教育

- 教育支援委員会による教育相談により、一人ひとりの障がいの状況に応じたきめ細かなニーズを把握しながら、個別の「指導計画」、「教育支援計画」を作成し、福祉部局と連携して幼児期から一貫した支援を行う。
- 市内における通級指導教室の拡充の推進。

教育環境の整備

地域と学校の連携・協働

- 各中学校区ごとの学校運営協議会の活動の支援。
- 地域ボランティアによる学習支援事業の実施。

部活動の地域展開

- 拠点校部活動や休日の部活動における外部指導者の活用。
- 学校、保護者、市内関係団体等との情報共有、種目ごとの協議等を経て、地域の活動へ展開する準備を行う。

教職員の働き方改革

- 「教職員業務改善推進プラン」に基づき、学校と保護者の連絡用アプリケーションなどの I C T の活用による校務効率化や、押印の見直しなど事務の効率化、部活動の地域展開の推進などにより、教職員の負担軽減や長時間勤務の解消に努める。

小・中学校の適正配置・施設改修

- 保護者や地域住民の意見を踏まえ、「第 2 期 滝川市小・中学校適正配置計画」の見直しを行う。見直しを踏まえ、滝川第一小学校の建替について、基本計画の策定に着手する。
- 施設の安全点検を定期的に行うとともに、主な大規模改修として、江陵中学校及び滝川西高等学校の照明器具の L E D 化工事を実施する。

市内高等学校の適正規模

- 北海道教育委員会が策定する公立高等学校配置計画を踏まえ、市民会議において関係者の意見を取りまとめ、検討。

I C T 教育環境

- G I G A スクール構想において整備した児童生徒用端末を更新。
- 学習用途のネットワーク通信量増加に対応できる校内ネットワーク通信環境の改善。

滝川西高等学校の教育の充実

英語教育・国際理解教育

- 引き続き2名の外国語指導助手（ALT）を配置し、日常英会話を始めとしたコミュニケーション能力の向上を図る。
- 姉妹校であるアメリカ・ロングメドー高校や交流提携校であるスウェーデン・ヴィトフェルスカ高校との交流事業を実施。

キャリア教育

- 生徒が主体的に課題を選択し、情報収集や研究活動で探究を深める「課題研究」を行う。
- インターンシップによる職業体験の実施や地元企業の魅力やSDGsの取組を学び、生徒が希望する進路の実現を図る。



幼児教育



学校法人 滝川学園 滝川幼稚園

所在地 〒073 - 0031 栄町 2 丁目 7 - 13
 TEL : 23 - 2478 FAX : 23 - 2445
 URL <http://www.takikawayouchien.jp>

園長 泉 敬之
開園年月日 昭和28年 5月16日
法人格取得年月日 昭和30年 3月16日
教育目標

- ・ 広々とした園庭でのびのびと遊び、自然との関わりを大切にする
- ・ 自由保育中心で、年齢にふさわしい個の育ちを大切に、自立する力を育て生きる尊さを知る
- ・ 真理（素直仲良く）を基とし、感性豊かな明るい子供を育てる

園児数・学級数

3 歳児	4 歳児	5 歳児	合計
47 (2)	54 (2)	65 (2)	166 (6)

() は学級数



学校法人 滝川興禅学園 滝川白樺幼稚園

所在地 〒073 - 0017 一の坂町西 1 丁目 1 - 5
 TEL : 24 - 6720 FAX : 24 - 6752
 URL <http://shira-kaba.cocolog-nifty.com/>

園長 芳村 元悟
開園年月日 昭和44年 3月 6日
法人格取得年月日 昭和43年12月28日
教育目標

- ・ 他を思う心
- ・ けじめを尊ぶ心
- ・ 美しいものを見る心
- ・ 自分を振りかえる心

園児数・学級数

3 歳児	4 歳児	5 歳児	合計
17 (1)	15 (1)	9 (1)	41 (3)

() は学級数

3

義務教育

小 学 校

滝川市立滝川第一小学校〔学校給食滝川第三小学校共同調理場〕



開校年月日 明治26年11月19日
校地面積 10,179㎡ 建物延面積 7,096㎡
鉄筋コンクリート3階建

〒073 - 0017 一の坂町西2丁目1番70号
TEL : 23 - 2219 FAX : 23 - 3517

校 長 奥山 直人 (R6.4 ~)

教 頭 小西 和真 (R7.4 ~)

教職員数 20人

学級数 11学級 (うち特別支援4学級)

児童数 197人

教育目標

- ・進んで学習する子ども (学び)
- ・思いやりのある子ども (ぬくもり)
- ・じょうぶな子ども (たくましさ)

特色ある教育活動

みんなで創る滝一の教育『いい顔・いい声・いい心』
社会の変化に対応する実践力を育む教育の推進
豊かな心と人間性を育む教育の推進
心や体の健やかな成長を促す教育の推進
地域とともにある学校、学校力を支える組織づくりと人材育成の実現

滝川市立滝川第二小学校



開校年月日 明治23年12月5日
校地面積 37,714㎡ 建物延面積 7,096㎡
鉄筋コンクリート3階建

〒073 - 0004 滝の川町東1丁目1番45号
TEL : 23 - 2786 FAX : 23 - 2027

校 長 坪江 潤 (R6.4 ~)

教 頭 谷口 貴志 (R5.4 ~)

教職員数 42人

学級数 14学級 (うち特別支援5学級)

児童数 233人

教育目標

- ・じょうぶな子 ~心身ともに健康で、心豊かな子~
- ・考える子 ~思考力に富み、創造性豊かな子~
- ・やりぬく子 ~責任を重んじ、実践力のある子~
- ・思いやりのある子 ~人を大切にし、共に生きることのできる子~

特色ある教育活動

- 自分にあった学び方がわかり、自らの学びを調整しながら進んで学びに向かう子どもの育成
 - ・子どもたちが互いに学び合い、自らの課題に挑戦する「単元内自由進度学習 (SPタイム)」の推進
 - ・自分に合った学び方がわかり、自らの学びを調整しながら進んで学びに向かう子どもを目指し、「自己調整力」の育成を図る
- 学びの基礎となる学力を育成する「ステップアップ第二小プロジェクト (SDPs)」の実施
 - ・朝学習の充実 (読解の習熟 シンキングレンズ A Iドリルの活用)
 - ・校内九九チャレンジや家庭学習キラキラノートなどの子どもが夢中になる取組
- 体力向上に向けた取組
 - ・体を動かすことが楽しい体育授業の充実
- 高校と連携した教育の推進 (相互のキャリア観の育成)
 - ・滝川西高校 (情報モラル) 滝川工業高校 (プログラミング) の生徒による授業

滝川市立滝川第三小学校〔学校給食滝川第三小学校共同調理場〕



開校年月日 大正7年4月19日
校地面積 18,578㎡ 建物延面積 7,321㎡
鉄筋コンクリート3階建

〒073-0036 花月町2丁目2番12号

TEL: 24-6107 FAX: 24-6105

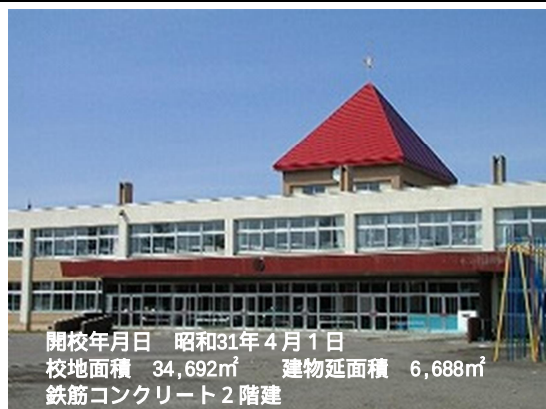
〔学校給食滝川第三小学校共同調理場〕平成27年4月1日開設

校 長	板谷 文美子 (R7.4~)
教 頭	二口 貴雅 (R6.4~)
教職員数	43人
学級数 児童数	18学級 (うち特別支援6学級) 291人
教育目標	【明苑中学校区学校教育目標】 自ら学び 共に高め合い 未来を切り拓く力を育む 【目指す児童生徒像】 ○主体的に学び、豊かに表現する子ども ○自他の良さや違いを認め合い、支え合う子ども ○他者と協働し、解決できる子ども ○心身を鍛え、粘り強く挑戦できる子ども ○地域に誇りを持ち、貢献できる子ども

特色ある教育活動

- 「三小スタイル」「学年内専科」による全校統一的な学習指導
- 「自立した学習者の育成」に向けた授業実践
- 受け継がれる学び合い活動、「学びのボランティア」の取組
- タブレットPC等のICT機器を活用した授業づくりの推進
- 朝読書・市立図書館との連携事業等、言語環境の充実、食育の推進
- 学びサポーターやスクールカウンセラーを活用した子どもの心の居場所づくりの推進
- 全教職員の支援体制による特別支援教育の推進
- 通級指導教室の指導の充実
- 北海道教育委員会指定事業「新しいかたちの学びの授業力向上推進事業」配置校
- 文部科学省委託事業「効果的かつ効率的な巡回指導の実施に向けたモデル構築事業」配置校

滝川市立西小学校〔学校給食西小学校共同調理場〕



開校年月日 昭和31年4月1日
校地面積 34,692㎡ 建物延面積 6,688㎡
鉄筋コンクリート2階建

〒073-0044 西町6丁目7番17号

TEL: 24-6275 FAX: 24-6276

校 長	千石 正巳 (R7.4~)
教 頭	佐藤 憲弘 (R6.4~)
教職員数	31人
学級数 児童数	11学級 (うち特別支援3学級) 211人
教育目標	○自分の考えをもち、進んで学習する子 ○思いやりがあり、心の豊かな子 ○ねばり強く、たくましい子 ～子どもたちのめあてのことば～ 考える子・思いやる子・やりぬく子

特色ある教育活動

- 北海道教育委員会指定事業「新しいかたちの学びの授業力向上推進事業」の活用
 - ・1人1台端末を活用した主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善と家庭学習の充実
- 「加配教員」「学びサポーター」「特別支援学級支援員」等を活用した、複数教員によるきめ細やかな指導の充実
- 栄養教諭と連携した食に関する指導の充実
 - ・菜花についての学習、菜種搾油見学、りんご農家見学 等
- 「校内支援委員会」や特別支援教育コーディネーター機能の充実を図り、全校的な取組としての児童支援
- 通級指導教室による言語・発達の遅れに対応した指導
- 読書通帳・読書郵便の実施による読書活動の充実
- 地域と連携して取組む児童の健全育成
 - ・西地区青少年育成会、西地区子ども見まもり隊、西地区三校クリーン作戦

滝 川 市 立 江 部 乙 小 学 校

〔学校給食西小学校共同調理場〕

 開校年月日 昭和50年4月1日 校地面積 58,773㎡ 建物延面積 5,422㎡ 鉄筋コンクリート2階建 〒079 - 0463 江部乙町東13丁目1426番地 1 TEL : 75 - 2404 FAX : 75 - 2030	校 長	鳥巢 和則 (R7.4 ~)
	教 頭	高坂 毅 (R6.4 ~)
	教職員数	16人
	学級数 児童数	9学級(うち特別支援3学級) 44人
	教育目標	<主目標> 「人間性豊かな実践力のある子ども」 <具体目標> ・ 知 自分で考え、表現し、解決に向けて努力する子ども ～ 思考・表現・学び～ ・ 徳 お互いの良さを認め、力を合わせ、やりぬく子ども ～ 協働・思いやり・ねばり強さ～ ・ 体 生涯にわたって、健康で、たくましい子ども ～ 健康・運動～
特色ある教育活動	○ 地域との連携と開かれた学校づくり ・ 地域の人材を活用した体験学習(菜の花、田んぼとの関わりなど) ・ 北辰の森 植樹祭への参加(6年生) ・ 共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育の推進(そらぶちキッズキャンプ、アダプテッドスポーツ体験など) ・ 中学校区内小学校(三校)交流会 ○ 集会における縦わり班活動 ・ 乙っ子集会を開催(異学年交流や地域老人クラブとの交流) ○ 研究主題 ・ 学びを深めようとする子どもの育成 ～協働的な学びと評価活動の充実～	

滝 川 市 立 東 小 学 校

 開校年月日 昭和53年4月1日 校地面積 39,417㎡ 建物延面積 5,819㎡ 鉄筋コンクリート3階建(一部4階) 〒073 - 0014 文京町2丁目1番1号 TEL : 23 - 1591 FAX : 24 - 7819	校 長	中川 浩之 (R5.4 ~)
	教 頭	長尾 孝明 (R6.4 ~)
	教職員数	39人
	学級数 児童数	17学級(うち特別支援4学級) 383人
	教育目標	【明苑中学校区学校教育目標】 自ら学び 共に高め合い 未来を切り拓く力を育む 【目指す児童生徒像】 ○ 主体的に学び、豊かに表現する子ども ○ 自他の良さや違いを認め合い、支え合う子ども ○ 他者と協働し、解決できる子ども ○ 心身を鍛え、粘り強く挑戦できる子ども ○ 地域に誇りを持ち、貢献できる子ども
特色ある教育活動	○ 人と人を繋ぐ挨拶の学校 ～学校・PTA・地域との連携～ ・ 児童会による挨拶運動 ・ 街頭指導や地域ボランティアの方との交流 ○ みんなが温かい心で過ごせる学校 ～いじめ・差別・偏見を生まない風土～ ・ みんなで遊ぶ日の設定 ・ 絆づくりメッセージコンクールへの参加 ○ 地域の風薫る学校 ～地域人材の活用と異校種との連携～ ・ 滝川第三小学校・明苑中学校・國學院大學北海道短期大学部との連携 ・ おはなしの会による読み聞かせボランティア ○ 歌声の響く学校 ～歌声集会の実施～ ・ 1年を通じた歌声活動「今月の歌」 ・ 歌声集会での成果の発表・交流 ○ 研究主題：主体性を発揮して学ぶ児童の育成 ～「考える」過程での全員参加の学び合いを意識した授業改善～	

中 学 校

滝 川 市 立 江 陵 中 学 校

 開校年月日 昭和22年 5 月 1 日 校地面積 36,881m² 建物延面積 7,123m² 鉄筋コンクリート 3 階建 〒073 - 0011 黄金町西 1 丁目 7 番18号 TEL : 24 - 6156 FAX : 24 - 6155	校 長	小林 晃彦 (R7.4 ~)
	教 頭	鹿糠 昌弘 (R7.4 ~)
	教職員数	34人
	学級数 生徒数	13学級 (うち特別支援 4 学級) 266人
	教育目標	教育目標 (知) 自ら考え、真理を究めよう (徳) 豊かな心で、明るく生きよう (体) 心身をきたえ、たくましく伸びよう 校訓 自主 躍動 調和
特色ある教育活動	○江陵中学校区学校運営協議会を核とした滝川第一小学校、滝川第二小学校、江部乙小学校との連携・協力・交流による小中9ヶ年を見通した滑らかな接続の推進 ○生徒の主体性を育み、「子どもを主語」にした授業改善の充実 ○自己有用感や自己肯定感、自己決定の視点を大切にした生徒指導の推進 ○ピア・サポートの視点を取り入れた良好な人間関係づくりや集団づくりの推進 ○生徒会が主体となったいじめ根絶への取組 ○自分の生き方を見出す「キャリア教育」の充実 ○様々なスタッフの配置による教育活動の推進	

滝 川 市 立 明 苑 中 学 校 (学校給食滝川第三小学校共同調理場)

 開校年月日 昭和22年 5 月 1 日 校地面積 21,688m² 建物延面積 7,123m² 鉄筋コンクリート 3 階建 〒073 - 0033 新町 4 丁目 9 番 1 号 TEL : 23 - 2129 FAX : 26 - 1201	校 長	渡辺 禎 (R5.4 ~)
	教 頭	柳沼 浩次 (R6.4 ~)
	教職員数	51人
	学級数 生徒数	18学級 (うち特別支援 6 学級) 408人
	教育目標	【明苑中学校区学校教育目標】 自ら学び 共に高め合い 未来を切り拓く力を育む 【目指す児童生徒像】 ○主体的に学び、豊かに表現する子ども ○自他の良さや違いを認め合い、支え合う子ども ○他者と協働し、解決できる子ども ○心身を鍛え、粘り強く挑戦できる子ども ○地域に誇りを持ち、貢献できる子ども 【校訓】 立志 練磨 継続
特色ある教育活動	○少人数指導や習熟度別指導を通じた個に応じた指導 (数学・国語) ○住みよい学校生活を目指した生徒会の自治活動「いじめ撲滅集会」 ○仲間とともに汗を流す「部活動の明苑」 ○心を開いて明るく元氣よく「あいさつの明苑」 ○空知の歴史を探究する「炭鉄港」教育 (総合的な学習の時間)	

滝川市立開西中学校〔学校給食西小学校共同調理場〕

 開校年月日 昭和37年4月1日 校地面積 25,638㎡ 建物延面積 5,624㎡ 鉄筋コンクリート3階建 〒073-0044 西町3丁目7番12号 TEL: 23-3549 FAX: 22-4219	校 長	菅原 寿一 (R7.4~)
	教 頭	小笠原 真樹 (R6.4~)
	教職員数	24人
	学級数 生徒数	8学級 (うち特別支援3学級) 129人
	教育目標	教育目標 豊かな知性と人間性を身につけ、集団の向上に努める 自ら考え、柔軟に創造し、自ら道を拓く 正邪の判断を明確にし、たくましい実践力をもつ 心身を鍛え、人とのふれあいに真心を尽くす 校訓 感動 創意 勇気 強健
特色ある教育活動	○北海道教育委員会指定事業「不登校対策総合実践事業」の活用 ○学びの仕掛けがある授業 ○規律と秩序がある安心・安全な学校 ○地域・家庭と連携した滝川西地区の学校	

中 学 生 の 進 路 状 況

（令和7年3月卒業生）

	全 日 制								定時制 (滝川高校等)	通信制 大学・短大 有朋高校等	工業高専 盲・聾学校 養護高等 専修等各種	就職 その他	計
	滝川西高校		滝川高校		滝川工業高校		市外の 公立高校	市外の 私立高校					
	普通	情報マネジ メント	理数	普通	電子 機械	電気							
江陵中学校	18	21	4	18	4	2	20	6	1	5	4	1	104
明苑中学校	16	23	8	44	10	3	17	10	2	3	2	0	138
開西中学校	10	11	1	4	2	1	10	5	1	0	0	0	45
計	44	55	13	66	16	6	47	21	4	8	6	1	287

小・中学校の児童生徒数及び学級数

（令和7年5月1日現在）

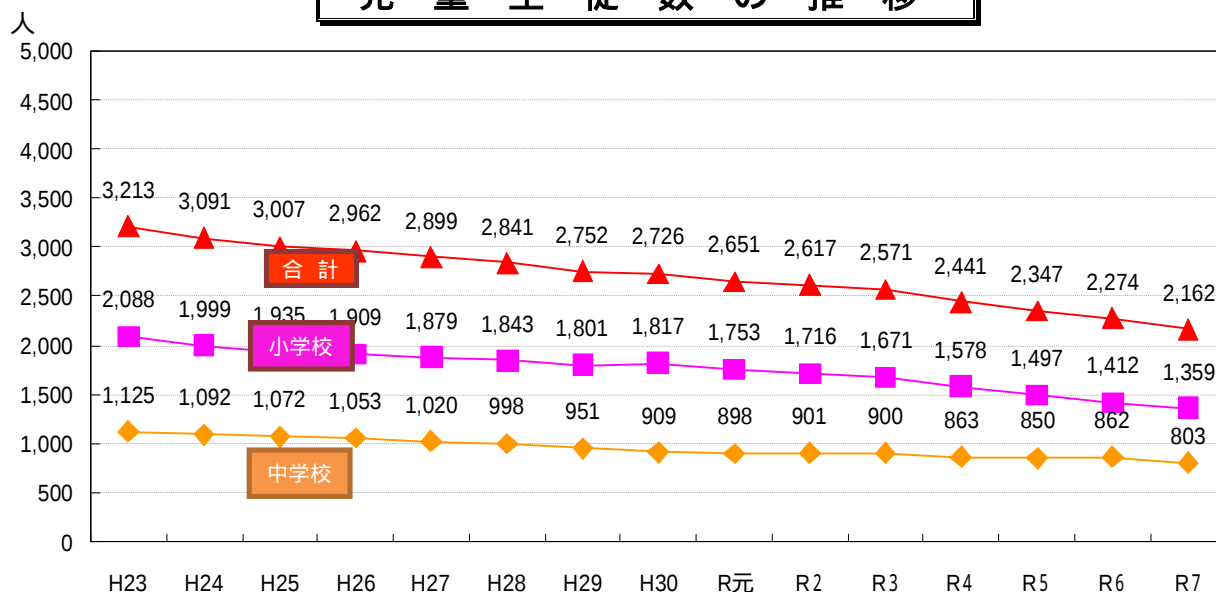
	1 年 生	2 年 生	3 年 生	4 年 生	5 年 生	6 年 生	特別支援	合計
滝川第一小学校	26 (1)	47 (2)	24 (1)	29 (1)	25 (1)	34 (1)	12 (4)	197 (11)
滝川第二小学校	28 (1)	31 (1)	36 (2)	36 (2)	24 (1)	47 (2)	31 (5)	233 (14)
滝川第三小学校	38 (2)	46 (2)	46 (2)	40 (2)	44 (2)	55 (2)	22 (6)	291 (18)
西小学校	33 (1)	25 (1)	34 (1)	36 (2)	38 (2)	29 (1)	16 (3)	211 (11)
江部乙小学校	6 (1)	10 (1)	5 (1)	8 (1)	3 (1)	9 (1)	3 (3)	44 (9)
東小学校	52 (2)	52 (2)	65 (2)	58 (2)	72 (3)	67 (2)	17 (4)	383 (17)
小学校合計	183 (8)	211 (9)	210 (9)	207 (10)	206 (10)	241 (9)	101 (25)	1,359 (80)

() 内は学級数

	1 年 生	2 年 生	3 年 生	特別支援	合計
江陵中学校	73 (3)	94 (3)	80 (3)	19 (4)	266 (13)
明苑中学校	108 (4)	147 (4)	128 (4)	25 (6)	408 (18)
開西中学校	36 (2)	30 (1)	55 (2)	8 (3)	129 (8)
中学校合計	217 (9)	271 (8)	263 (9)	52 (13)	803 (39)

() 内は学級数

児童生徒数の推移



通級指導教室事業

<開設目的>

通常の学級に在籍している軽度の障がいのある子どもに対して、各教科等の指導の大部分はそれぞれの学級で行いつつ、個々の障がいの状況に応じた特別の指導を行うことを目的として設置している。

<設置場所及び開設年月日>

滝川第三小学校 平成5年4月
 滝川第二小学校 平成23年4月
 明苑中学校 平成24年4月
 西小学校 平成26年4月
 東小学校 令和6年4月
 滝川第一小学校 令和7年4月

<通学区域>

滝川第一小学校 ~ 滝川第一小学校
 滝川第二小学校 ~ 滝川第二小学校、江部乙小学校
 滝川第三小学校 ~ 滝川第三小学校
 西小学校 ~ 西小学校
 東小学校 ~ 東小学校
 明苑中学校 ~ 江陵中学校、明苑中学校、開西中学校

<所管課>

教育総務課

適応指導教室事業

<教室名称>

ふれあいルーム

<開設目的>

不登校児童生徒の学校復帰を図るための指導・支援と相談業務等

<開設年月日>

平成7年7月1日

<指導体制>

教育支援専門員 5名（うちスクールソーシャルワーカー兼務1名、地域コーディネーター兼務2名）

<開設場所>

教育支援センター 1階 TEL:74-4800

<相談・指導内容>

- 児童生徒に対する相談・指導支援
 - (1) 児童生徒の実態に応じた個別指導及び教育相談
 - (2) 児童生徒の実態に応じた集団活動支援
- 保護者に対する教育相談
 - (1) 個別の相談活動を通して児童生徒の対応について相談及び支援等

<所管課>

教育総務課

特別な支援を要する児童生徒の就学状況

○特別支援教育諸学校（令和7年5月1日現在）

	障がい 区 分	学年別内訳（小学生）						学年別内訳（中学生）			合計
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	1年	2年	3年	
美唄養護学校	知 的		1			2		3	2	3	11
旭川盲学校	視 覚									1	1
鷹栖養護学校	知 的							1			1
旭川聾学校	聴 覚							1		1	2

○市立小中学校（令和7年5月1日現在）

	障がい 区 分	学年別内訳						合計
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	
滝川第一小学校	知 的				4		2	12
	病 弱					1		
	言 語			1				
	自閉・情緒			2		2		
滝川第二小学校	知 的	1	4	3	2	3	1	31
	言 語		1		1	1		
	自閉・情緒	3	1	2	4	1	3	
滝川第三小学校	知 的		2	2	2	2	2	22
	肢体不自由				1			
	言 語		1					
	自閉・情緒	1	3	2	1	3		
西 小 学 校	知 的	3		1		3	1	16
	言 語				1			
	自閉・情緒		2	1	1	3		
江部乙小学校	肢体不自由		1					3
	言 語						1	
	自閉・情緒				1			
東 小 学 校	知 的				2		2	17
	肢体不自由				1			
	自閉・情緒		5	2	2	1	2	
小 学 校 計		8	20	16	23	20	14	101
江 陵 中 学 校	知 的	3	2	5	/			19
	言 語		1					
	自閉・情緒	3	3	2				
明 苑 中 学 校	知 的	2	4	4				25
	肢体不自由		1					
	言 語		1					
	自閉・情緒	3	4	6				
開 西 中 学 校	知 的	1						8
	病 弱			1				
	自閉・情緒	4	2					
中 学 校 計		16	18	18				52
小中学校合計								153

学 校 給 食

滝川市では全ての小学校・中学校において完全給食を実施しています。

【１食当たりの単価】

小学校 305円、中学校 369円

(ただし、令和７年度は小学校48円、中学校59円を公費負担しています。)

【給食の実施状況】

学校名	方式	調理場名
滝川第一小学校	共同調理場	滝川第三小学校共同調理場
滝川第二小学校	単独調理場	
滝川第三小学校	共同調理場	滝川第三小学校共同調理場
西小学校	共同調理場	西小学校共同調理場
江部乙小学校	共同調理場	西小学校共同調理場
東小学校	単独調理場	
江陵中学校	単独調理場	
明苑中学校	共同調理場	滝川第三小学校共同調理場
開西中学校	共同調理場	西小学校共同調理場

共同調理場方式とは、複数校の給食をまとめて調理した上で、各学校に配送する方式です。

単独調理場方式とは、その学校の調理場で調理する方式です。

4

高等学校教育



北海道滝川西高等学校

所在地	〒073 - 0044 西町 6 丁目 3 - 1 TEL : 24 - 7341 FAX : 24 - 7342
校長	三井 智和
教頭	森川 智志
教職員数	60人
開校年月日	昭和48年 4 月 1 日
教育目標	

生徒数・学級数

	普通科	情報 マネジメント科	合計
1 年	108 (3)	94 (3)	202 (6)
2 年	88 (3)	104 (3)	192 (6)
3 年	106 (3)	95 (3)	201 (6)
合計	302 (9)	293 (9)	595 (18)

() 内は学級数

1. 自ら学び続ける意欲と態度をもち、目標に向かって自己実現を図ることができる生徒の育成
2. 心豊かに、ともに支え合い、たくましく、主体的に行動することができる生徒の育成
3. 学科の特徴を生かした取組により、地域の発展に貢献することができる生徒の育成



北海道滝川高等学校

所在地	〒073 - 0023 緑町 4 丁目 5 - 77 TEL : 23 - 1114 FAX : 23 - 1115
校長	木下 温
教頭	杉山 賢一・谷川 敬一
教職員数	63人
開校年月日	昭和 4 年 5 月10日
教育目標	

生徒数・学級数

	普通科	理数科	合計
1 年	151 (4)	35 (1)	186 (5)
2 年	142 (4)	31 (1)	173 (5)
3 年	154 (4)	31 (1)	185 (5)
合計	447 (12)	97 (3)	544 (15)

() 内は学級数

高い志をもち、自己を創造し、真理を追求する心と
未来を拓く力を育む

- (1) 自学自律 高い見識
- (2) 自尊惻隠 豊かな人間性
- (3) 健体康心 健やかな心と体

	1 年	2 年	3 年	4 年	合計
定時制	8	6	5	1	20



北海道滝川工業高等学校

所在地	〒073 - 0006 二の坂町西 1 丁目 1 - 5 TEL : 22 - 1601 FAX : 22 - 1604
校長	馬道 淳一
教頭	小池 圭太
教職員数	33人
開校年月日	大正 9 年 4 月27日
教育目標	

生徒数・学級数

生徒	電子機械科	電気科	合計
1 年	30 (2)	12 (0)	42 (2)
2 年	18 (0)	28 (1)	46 (1)
3 年	21 (2)	7 (0)	28 (2)
合計	69 (4)	47 (1)	116 (5)

() 内は学級数

1. 健やかな身体と強い意志を育てる
2. 確かな学力と豊かな心を育てる
3. 創造的な技術能力と勤労の態度を育てる

○高等学校卒業後の進路状況 (令和 7 年 3 月卒業生)

	大学進学	短大進学	専修学校	各種学校	就職者	その他	合計
滝川西高校	94	18	84	2	31	1	230
滝川高校(全日制)	156	2	23	3	3	9	196
滝川高校(定時制)	2	0	2	0	1	0	5
滝川工業高校	2	0	3	3	24	0	32



専修学校・大学教育

滝川市立高等看護学院

所在地 〒073 - 0022 大町3丁目2番29号

TEL : 24 - 7027 FAX : 74 - 7088

学 院 長 松橋 浩伸

教職員数 14人

開校年月日 昭和44年4月1日

教育理念

看護の専門職としてその役割を十分果たすことができるよう、一般教養科目をはじめ専門基礎科目・専門科目の修得を通じて自己の生き方を追求し、豊かな人間性を養い、良き社会人として、又看護師として社会に貢献できる素地を養うことを目的とする。

学生数

	1年	2年	3年	合計
看護科	20	19	24	63

卒業後の進路状況（令和7年3月卒業生）

	看護分野に就職	その他	合計
看護科	21	2	23

國學院大學北海道短期大学部

所在地 〒073 - 0014 文京町3丁目1番1号

TEL : 23 - 4111 FAX : 23 - 5590

学 長 平野 泰樹

教職員数 40人

開校年月日 昭和57年4月1日

教育理念

國學院大學の建学の精神である「凡（およ）ソ学問ノ道八本（もと）ヲ立ツルヨリ大ナルハ莫（な）シ」を教育の中心に据え、高等教育機関としての短期大学を“ファーストステージ”として位置付け、教育・専門・実務のバランスのとれたカリキュラムによる教育を実践し、本学卒業後の四年制大学への編入学や就職等（セカンドステージ）の多様化する進路選択に対応した学生支援体制をとるとともに、地域に根ざした大学づくりをすすめている。

学生数

	国文学科	総合教養 学 科	幼児・児童 教育学科	合計
1年	84	113	39	236
2年	51	94	30	175
合計	135	207	69	411

卒業後の進路状況（令和7年3月卒業生）

	国文学科	総合教養 学 科	幼児・児童 教育学科	合計
大学学部	58	86	11	155
専門学校	0	0	1	1
就 業 者	8	9	18	35
上記以外	0	2	2	4
合計	66	97	32	195

III 社会教育

1

社会教育

家庭教育の支援

基本的生活習慣の定着

- 【目的】新1年生の基本的生活習慣の定着を目的とする。
【内容】各小学校で実施する1日入学時における「我が家のマナー」の周知。

安心・安全な電子メディア利用の推進

- 【目的】児童・生徒・保護者（幼児の保護者を含む）がスマートフォン等電子メディアとの正しい付き合い方を考え、身に付けることを目的とする。
【内容】○小学校においての「スマホ安全教室」の実施。
○情報モラルに関する保護者向け啓発リーフレットの発行。
○携帯電話販売店を巡回しての児童・生徒が所有するスマートフォン等のフィルタリングの徹底。

青少年の健全育成

青少年の健全育成活動

- 【目的】地域の教育力を生かした青少年健全育成を目的とする。
【内容】○地区青少年育成会（7地区）の地域力を活かした特徴ある事業の支援。
○育成活動交流会「はぐくミックス」の開催。

健全育成事業の実施

- 【目的】各種体験活動に参加する機会を提供することで、心豊かでたくましい子どもたちの育成を目的とする。
【内容】○市内3中学校生徒による「少年の主張」の開催。
○一般社団法人滝川青年会議所主催の沖縄県名護市との児童交歓事業の支援。

青少年の非行・被害の防止

- 【目的】青少年が犯罪を起こさない、犯罪にあわない健全な環境づくりを目的とする。
【内容】○警察との連携によるカラオケボックス等立ち入り調査。
○「校外生活のきまり」の作成及び周知徹底。

青年団体活動の支援

- 【目的】自主的な活動を通じて地域を支える次世代のリーダーの育成を目的とする。
【内容】青年交流プラザ振興会による青年団体活動の支援。

はたちのつどいの実施

- 【目的】大人としての自覚を持ち、自ら自立心や向上心を高めていくことを期待し、二十歳を迎えた青年を激励することを目的とする。
【内容】式典及びアトラクションの企画・運営。

生涯学習活動の推進

生涯学習活動情報の提供

- 【目的】さまざまな学びに関する情報を提供し、「いつでも」「だれでも」学べる環境づくりを目的とする。
【内容】○グループ・サークル一覧表の情報収集及び発行。
○ホームページなどを活用した情報提供。

生涯学習活動の充実

- 【目的】さまざまな世代に対する自主的な学びの場の充実を目的とする。
【内容】一般財団法人滝川生涯学習振興会との連携の強化。

社会教育施設の概要

● 音楽公民館

- 【所在地】〒073-0033 新町3丁目8番3号 TEL: 24-7479
【敷地面積】1,267.00㎡ 【延床面積】1,024.50㎡ 【構造】鉄筋コンクリート造2階建
【施設概要】講堂、会議室、研修室、和室、視聴覚室ほか
【開館年月日】昭和56年12月20日 【管理】中央ビルメンテナンス(株)空知事業部

● 教育支援センター

- 【所在地】〒073-0014 文京町4丁目1番1号 TEL: 74-4800
【敷地面積】6,756.22㎡ 【延床面積】1,789.75㎡ 【構造】鉄骨・鉄筋コンクリート造2階建
【施設概要】会議室、和室、体育館、ふれあいルーム、相談室ほか
※空知教育センターを含む複合施設
【開館年月日】平成24年8月21日 【管理】株式会社 フジファシリティー

2

芸術文化

市民による文化 芸術活動の支援

市民による文化芸術活動の支援

- 【目的】市民が主体となり、日ごろの文化芸術活動の支援や発表の支援を行うなど、地域の文化芸術活動の推進を目的とする。
- 【内容】○「風がみつけた街」たきかわ音楽祭の支援。
○「滝川市民文化祭」の支援。
○「たきかわこどもミュージックフェスタ」の支援。
○文化芸術活動に係る補助金の相談・申請。
○空知管内公共ホール使用料等補助金の相談・申請。

優れた芸術鑑賞 機会の提供

芸術鑑賞機会の提供

- 【目的】市民が主体となり開催する芸術鑑賞事業を支援するなど、優れた芸術鑑賞の機会を提供することを目的とする。
- 【内容】市民ロビーを活用した「ロビーコンサート」の開催。

アウトリーチ事業の推進

- 【目的】音楽や演劇などの芸術家を学校等に派遣し、質の高い文化芸術の鑑賞・体験を通して児童の豊かな心や感性を育むことを目的とする。
- 【内容】ひのき屋コンサート/東小学校
伝統芸能教室/江部乙小学校

地域おこし協力隊による 文化芸術活動の活性化

地域おこし協力隊の活用

- 【目的】文化芸術に精通した地域おこし協力隊を採用し、文化芸術活動の活性化や人材育成に取り組むことを目的とする。
- 【内容】○滝川市の「文化」を学び、共有し、活動につなげる「たまり場」の開設。
○舞台や映画、コンサートなど市民との連携による文化芸術事業の実施。
○学校・団体等での講演やワークショップの実施。

文化施設等の整備

ホール機能を有する施設の整備

- 【目的】昨年まで取りまとめた機能等の検討を踏まえた、ホール機能を含む施設整備を行うことを目的とする。
- 【内容】新ホール施設整備の検討。

陶芸センターの活用

市民による陶芸活動の支援

- 【目的】陶芸センターを活用した市民主体の陶芸活動の支援。
- 【内容】市民主体による陶芸活動への移行に向けた助言・支援。

文化施設の概要

● 滝川市民交流プラザ

- 【所在地】〒073-0032 明神町2丁目2番16号 ホテルスエヒロ内
TEL : 070-8718-5965 FAX : 050-3156-7474
- 【延床面積】2,396,619㎡ 【施設概要】メインホール 432席 小ホール 300席 他
- 【開館年月日】令和4年4月1日 【管理】特定非営利活動法人 アートステージ空知

● 陶芸センター

- 【所在地】〒073-0033 新町3丁目8番13号 TEL : 22-3503
- 【敷地面積】573.18㎡ 【延床面積】191.22㎡
- 【窯】15kw 窯 1基 20kw 窯 1基 自動焼成装置 1台 【開館年月日】昭和53年6月1日
- 【管理】令和7年4月1日～休止

● たきかわホール

- 【所在地】〒073-0031 栄町3丁目9番2号 スマイルビル3階 TEL・FAX : 23-6005
- 【延床面積】838.19㎡ 【施設概要】多目的ホール、ギャラリー、リハーサル室
- 【開館年月日】平成14年12月4日 【管理】平成29年4月1日～休止

3

スポーツ

体育指導及び振興

スポーツ体験機会の提供

- 【目的】誰もが気軽にスポーツに参加し、継続的にスポーツに取り組む環境づくりを目的とする。
- 【内容】○たきかわコスモスマラソンの支援。
○滝川スポーツフェスティバルの支援。
○マリンスポーツフェスティバルの支援。

子どもの体力向上の推進

- 【目的】子どもを対象とした各種運動プログラムを支援し、子どもの体力と運動能力の向上の推進を目的とする。
- 【内容】○子どもの発育発達期に応じた運動プログラム「元気アップ教室」などの支援。
○水上スポーツの体験プログラム「親子カヌー教室」などの支援。
○冬期間の運動プログラム「小学1年生スキー教室」、「低学年スケート教室」などの支援。

アダプテッドスポーツの推進

- 【目的】障がいの有無に関係なく、誰もが一緒に楽しむことができる環境の整備充実を目的とする。
- 【内容】児童を対象としたアダプテッドスポーツ授業の実施。

体育施設の整備

新たな海洋センターの整備

- 【目的】B & G財団の支援を受け、新たな付加機能を備えた海洋センター整備を進めることを目的とする。
- 【内容】新たな海洋センター整備に関する実施設計書（令和7年3月策定）に基づき、令和8年度の供用開始に向けて、施設整備工事を実施する。

教育支援センター・アリーナ照明の改修

- 【目的】滝川市教育支援センター・アリーナの照明をLED化する改修を行い、利用者が快適に利用できる施設に整備することを目的とする。
- 【内容】高圧ナトリウムランプの製造終了及び販売の中止に伴い、アリーナ内の照明を全てLED照明へ更新する改修工事を行う。

スポーツ施設の概要

● 滝川市スポーツセンター第1体育館

【所在地】〒073-0005 二の坂町東3丁目2番1号 TEL: 23-4617 FAX: 23-4351
【面積・規模等】1階 2,918㎡ (うち競技場1,736.64㎡) 2階 613㎡
【構造】鉄骨・鉄筋コンクリート造陸屋根一部2階建
【開設年月日】昭和54年3月10日 【管理】一般財団法人 滝川市スポーツ協会

● 滝川市スポーツセンター第2体育館

【所在地】〒073-0005 二の坂町東3丁目2番1号 TEL: 23-3842 FAX: 23-4351
【面積・規模等】1階 1,908.33㎡ (うち競技場875㎡) 2階 1,005.48㎡
【構造】鉄筋コンクリート造2階建 【開設年月日】昭和46年4月1日
【管理】一般財団法人 滝川市スポーツ協会

● すばーく滝川（多目的施設）

【所在地】〒073-0005 二の坂町東3丁目2番1号 滝の川公園内
【面積・規模等】面積: 1,183.47㎡ (クラブハウス含む) コート: 2面 (20×15m)
【開設年月日】平成4年4月1日 【所有】一般財団法人 滝川市スポーツ協会

● B & G海洋センター

【所在地】〒073-0041 西滝川10番地 TEL・FAX: 23-4194
【敷地面積】1,717.00㎡ 【延床面積】382.489㎡
【設備器材】OP ヨット、アクセスディンギー、サボットヨット、競技用カヌー、カヌー、ペアカヌー、カナディアンカヌー、ローボート、スタンズアップパドルボード、ライフジャケット、救助艇、競技用パラカヌー
【開館年月日】平成6年7月6日 【管理】一般財団法人 滝川市スポーツ協会

● 陸上競技場

【所在地】〒073-0005 二の坂町東3丁目2番1号 滝の川公園内
【面積・規模等】面積: 25,148㎡・1周400m 単心円、8コース 収容人員: 8,000人
【開設年月日】昭和49年9月15日 【管理】一般財団法人 滝川市スポーツ協会

● 滝川市営球場

【所在地】〒073-0005 二の坂町東3丁目2番1号 滝の川公園内 TEL: 24-8600(※試合当日のみ)
【面積・規模等】中堅線 122m・両翼 98m 収容人員: 5,000人 照明: 6基
スコアボード: 磁気反転式
【開設年月日】昭和47年6月10日 【管理】一般財団法人 滝川市スポーツ協会

● 北電公園球場(2面)

【所在地】〒073-0042 泉町135番地6
【敷地面積】12,964㎡ 【開設年月日】昭和50年 【管理】一般財団法人 滝川市スポーツ協会

● 滝の川球場

【所在地】〒073-0005 二の坂町東3丁目2番1号 滝の川公園内
【面積・規模等】中堅線 111.5m・両翼96m
【開設年月日】昭和63年7月30日 【管理】一般財団法人 滝川市スポーツ協会

● 石狩川野球場

【所在地】〒073-0035 中島町無番地
【面積・規模等】中堅線 118m・両翼96m
【開設年月日】平成3年10月に移設
【管理】一般財団法人 滝川市スポーツ協会

● 滝川市サッカー場

【所在地】〒073-0106 砂川市空知太
【敷地面積】20,250㎡ 【施設概要】2面 【開設年月日】平成元年
【管理】一般財団法人 滝川市スポーツ協会

● 文京台ソフトボール場

【所在地】〒073-0014 文京町4丁目1番1号
【敷地面積】10,600㎡ 【施設概要】2面 【開設年月日】平成25年5月26日
【管理】滝川市ソフトボール協会

● 滝川市テニスコート

【所在地】〒073-0005 二の坂町東3丁目2番1号 滝の川公園内
【面積・規模等】面積: 6,612㎡・8面 照明: 6面 表層: 砂入り人工芝
【開設年月日】令和5年4月29日 【管理】一般財団法人 滝川市スポーツ協会

● ターゲット・バードゴルフ場

【所在地】〒073-0005 二の坂町東3丁目2番1号 滝の川公園内
【面積・規模等】面積：3,982㎡ コース：18ホール・延長724m
【開設年月日】平成6年6月18日 【管理】一般財団法人 滝川市スポーツ協会

● 弓道場

【所在地】〒073-0005 二の坂町東3丁目2番1号 滝の川公園内 TEL：23-1753
【面積・規模等】面積：900㎡ 的場照明：8灯 6人立ち
【開設年月日】昭和51年9月10日 【管理】一般財団法人 滝川市スポーツ協会

● アーチェリー場

【所在地】〒073-0005 二の坂町東3丁目2番1号 滝の川公園内
【面積・規模等】練習場：5射用（射距離30m・50m）
【開設年月日】平成元年7月30日 【管理】一般財団法人 滝川市スポーツ協会

● 滝川スケート場

【所在地】〒073-0005 二の坂町東3丁目2番1号 滝の川公園内 大駐車場
TEL：24-8600（オープン期間のみ） 【面積・規模等】1周170m
【開設期間】12月下旬～2月中旬（12月29日～1月5日は休み）
【運営】一般財団法人 滝川市スポーツ協会

● 石狩川河川敷パークゴルフ場

【所在地】西滝川地先 TEL：080-9000-4808
【施設概要】8コース72ホール
【開設年月日】平成29年7月1日 【管理】株式会社 滝川振興公社

4

図書館

地域の情報・生涯学習拠点事業

通常展示

- 【目的】役に立つ、楽しめる展示を毎月複数実施して、地域の情報拠点としての情報発信と、読書への興味・関心を喚起し、読書普及につなげる。
- 【対象】子どもから大人
- 【期間】通年
- 【場所】図書館
- 【内容】ふるさと魅力発見!!～自然編～、世界のごはん、大掃除は夏のうちに!、世界の古代文明に迫る!!ほか

読書フェスティバル

- 【目的】読書週間事業として、ワークショップや大型展示などを実施し、本との出会いのきっかけづくりや読書の楽しさを伝え、読書の普及に資する。
- 【対象】子どもから大人
- 【期間】9月～12月
- 【場所】図書館・市役所
- 【内容】アナログの魅力 ヴィンテージサウンドのタペ、えいごのおはなし会、講演会、特別展示ほか

図書館ボランティア

- 【目的】図書館利用の促進と生涯学習活動の場として図書館事業に参加し、自らの知識・技能の向上とその経験を生かした活動の拠点として、人が輝き親しみのある図書館づくりを目指す。
- 【対象】18歳以上の市民
- 【場所】図書館ほか
- 【内容】曜日ボランティア（書架整理、本の修理・整備、広報切り抜きほか）
おはなし会ボランティア（高齢者、えほんの読み聞かせ）
朗読ボランティア

図書館視察・訪問受入れ

- 【目的】団体等の図書館視察や学校の図書館訪問を受け入れ、滝川市立図書館の仕事や活動を紹介し、図書館への理解を深めてもらうほか、要望に応じて利用案内や読み聞かせ、自由読書などのプログラムを実施して読書に親しんでもらう。
- 【対象】子どもから大人
- 【場所】図書館
- 【内容】団体、学校等からの図書館視察・図書館訪問の受入れ

高齢者施設出張おはなし会

- 【目的】高齢者サービスの一環として、図書館利用が困難な高齢者施設入居者に対して、出張おはなし会を実施することにより、読書普及を推進する。
- 【対象】高齢者施設入居者
- 【場所】市内高齢者施設
- 【内容】施設へ図書館スタッフが出張し、読み聞かせや歌、体操などを実施する。

カレンダーリサイクル展

- 【目的】くらしに役立つ情報としてカレンダーを募り配付することで、図書館に足を運ぶ機会を提供する。
- 【対象】子どもから大人
- 【場所】図書館
- 【内容】企業や個人から不用のカレンダーを募り、市民に提供する。

展示写真で振り返る～ふるさとあの場所、いま・むかし～

- 【目的】ふるさと滝川の歴史を写真で振り返り昔を懐かしんでもらうとともに、街並みの変遷を知り郷土への理解や愛を深めてもらう。
- 【対象】子どもから大人
- 【場所】図書館
- 【内容】滝川の場所や建物の変遷を過去と現在の写真で振り返る。

連携事業

行政連携

- 行政情報の収集と発信、連携事業
- 【目的】市役所庁舎内の特色を活かし、様々な情報を市民に提供するため、行政情報コーナーや議会図書室の設置や事業周知の連携展示等により情報発信を行うほか、健診や講座などでの図書設置、関連図書のチラシ配付、行事の協同開催や出張おはなし会などの実施により、事業推進の一助とする。また、仕事に役立つ資料や郷土資料についても収集し、各課の業務推進に資する。
- 【対象】子どもから大人
- 【期間】通年
- 【場所】図書館
- 【内容】行政情報の提供、連携展示、連携行事、行政資料・郷土資料収集、議会図書室ほか

病院連携

- 【目的】健康情報コーナーを館内に常設して市民に役立つ図書館づくりを進めるとともに、市立病院作業療法室の患者さん製作の時節のしおりなどを利用者へ配付して、読書普及の推進に資する。
- 【対象】子どもから大人
- 【期間】通年
- 【場所】図書館・市立病院
- 【内容】健康情報収集・発信、しおりやイベント時のミニプレゼントの作成協力・配付

まちなか連携

- 【目的】まちなかの図書館の特色を活かし、まちなか情報コーナーを設置して市民にまちなかの様々な情報を提供するほか、まちなか連携展示を実施して、まちなかへの利用者回遊に資する。
- 【対象】大人
- 【期間】通年
- 【場所】図書館
- 【内容】まちなかの個店や団体・サークルを紹介する展示「まちなかコンシェルジュ【お店編】・【団体・サークル編】」、まちなかコンシェルジュチラシの配付、観光国際スクエアでの展示ほか

学校との連携による子どもの読書活動支援

- 【目的】子どもたちが多くの時間を過ごす場である学校において、読書の楽しさや素晴らしさを伝え、読書の習慣化が図られるよう、図書の貸出や図書室に対する支援を学校と協働して行い、子どもの読書活動を推進する。
- 【対象】児童生徒
- 【期間】通年
- 【場所】小・中学校・図書館
- 【内容】図書館学級文庫、学校図書館運営支援、たきかわっ子ワクワクまなびプログラム、図書館訪問、読書支援、読書アルバム、おすすめの本のチラシの配付、連絡会議

國學院大學北海道短期大学部連携

- 【目的】國學院大學北海道短期大学部図書館と連携し、蔵書の有効活用を図るとともに、協働での事業に取り組み、相互の図書館の利用促進に資する。
- 【対象】短大生、大人
- 【期間】通年
- 【場所】國學院大學北海道短期大学部、図書館
- 【内容】蔵書の相互貸借、短大情報コーナーの常設、古本もってけ祭 in ありす祭、講演会

地 域 連 携

■雑誌スポンサー制度「雑誌ささえ隊」

【目的】新鮮な情報が得られる雑誌の充実を図るため、企業、団体、個人より寄贈を募る「雑誌ささえ隊」に取り組み、市民・企業・団体と連携し、魅力ある図書館づくりを推進する。

【対象】企業、団体、個人

【内容】1年間の雑誌の寄贈募集、読み終えた雑誌の継続的な寄贈募集、企業、団体等の紹介など

■まごころ本箱「はこぶっく」

【目的】団体や施設などが気軽に図書を利用できるように団体貸出を実施し、身近な場所での読書活動を支援することで、新たな読書コミュニティづくりを推進する。

【対象】団体・サークル、施設など

【期間】通年

【内容】3世帯以上で構成されている団体・サークル、保育所や幼稚園、児童館、学童クラブ等の通所施設、こども発達支援センター、保健センター、子育て支援センターなどへ、50冊以内、1ヶ月の期間で貸出を行う。

■どこでもドクショ。

【目的】図書館まで足を運べない市民に配慮し、地域の施設等で本にふれることができる読書環境を整備することで、乳幼児からの読書習慣の形成や生涯学習活動を支援する。

【期間】通年

【場所】地域文庫編：市立病院地域文庫、緑寿園地域文庫、本町地区コミュニティセンター地域文庫

シニア編：市内高齢者施設

キッズ編：市内保育所、地域子育て支援センター、子ども発達支援センター、たきかわっこルーム

【内容】寄贈本や図書館で不用となった除籍本を提供する。

■連携イベント

【目的】地域と連携し、おはなし会や朗読会等のイベントを開催することにより、読書普及を推進する。

【対象】子どもから大人

【期間】通年

【内容】WaiWai フェスタ、朗読会ほか

こどもの読書普及事業

ブックスタート

【目的】読み聞かせを通じて親子がふれあう機会を持つことができるよう、子どもの成長にあわせて絵本を贈り、家庭での読み聞かせを推奨することで読書習慣定着のきっかけづくりとする。

【対象】4・5か月児相談を受診した子どもとその保護者

【期間】通年

【場所】保健センター

【内容】絵本、おすすめの本や子育て情報のチラシ、図書館オリジナルトートバッグを提供する。

出張おはなし会・図書館訪問

【目的】幼稚園、保育所、学童クラブ、育成会事業、地域のお茶会などの依頼に応じて、各施設や図書館でおはなし会を実施し絵本を通じたふれあいの場を提供する。

【対象】子どもから大人

【期間】通年

【場所】出張おはなし会：幼稚園、保育所、児童館、障がい児通所施設など

図書館訪問：図書館

【内容】各施設での行事等に合わせて、図書館スタッフが施設に出向いたり、子ども達が図書館を訪問し、おはなし会を行う。

えほんとおそぼう！「おはなしのひろば」

【目的】絵本の読み聞かせを通じて、子どもたちの豊かな心や想像力を育むとともに、絵本への興味関心の向上のきっかけを作り、図書館での楽しいひとときを提供する。

【対象】子どもとその保護者

【期間】毎月1回

【場所】図書館

【内容】ボランティアと職員による絵本の読み聞かせ、工作など

子どもの読書週間

- 【目的】展示や催し物などを通じて、読書の楽しさを子どもたちへ伝えとともに、大人へは読書の重要性の周知・啓発を行い、読書習慣の形成と定着に資する。
- 【対象】子どもから大人
- 【期間】3月2日～5月24日
- 【場所】図書館
- 【内容】展示「生きる力を育むたきかわっ子ワクワクまなびプログラム」、滝川市立図書館特製しおり配付、えほんとおそぼう！「おはなしのひろば」

絵本作家ワークショップ

- 【目的】絵本作家によるワークショップを通じて、子どもたちの豊かな心の育成と読書普及を図る。
- 【対象】子どもとその保護者
- 【日程】7月27日
- 【場所】市役所
- 【内容】絵本作家はらぺこめがねワークショップ

たきかわ DE 調べる学習体験講座

- 【目的】様々な体験や学習を通して、主体的に課題を見つけ、考え、調べてまとめる教科横断的な学習の機会を提供することで、楽しく学びながら探究心を育て、将来にわたって社会的・職業的に自立し、夢や希望を持ち自分らしい生き方ができるようなキャリア開発につなげることを目的に、地域の企業や機関と連携し、本事業を実施する。
- 【対象】小学生
- 【日程】7月29日、7月30日、8月2日、8月5日、冬休み
- 【場所】市内、赤平市
- 【内容】松尾ジンギスカンコース、FM ラジオコース、消防署コース、モデルロケット製作コース、陸上自衛隊コース、国際交流コース、豆記者 新聞コース

としょかん☆ワクワクゲーム DAY2025

- 【目的】ボードゲームやパズルなどのあそびを通して、楽しく STEAM 教育を推進する。
- 【対象】親子、小・中学生など
- 【日程】6月29日、10月26日
- 【場所】市役所
- 【内容】カードゲームやボードゲーム、パズルなどの知育玩具を、参加者同士が交流しながら遊ぶ体験を行う。

第 10 回滝川市立図書館を使った調べる学習コンクール

- 【目的】調べる学習の実践により、子どもたちの主体的な学習意欲を喚起し、情報活用能力や読解力、思考力、言語力を身につけ、生涯を通じた学び力と生きる力を育成することに資する。
- 【対象】小学生
- 【期間】9月1日募集開始、10月審査・発表・展示、11月表彰（最優秀作品は全国コンクールに推薦）
- 【場所】図書館ほか
- 【内容】テーマは自由で、小学生低・中・高学年に部門を分け、各部門の中から最優秀賞、ぶんちゃん賞、優秀賞、佳作を選出する。部門共通として、滝川をテーマにした作品の中から郷土賞、メディアを活用した作品の中から滝川記者会賞、また第 10 回を記念し、SDG's をテーマにした記念特別賞を選出する。

学校体験・研修プログラム

- 【目的】様々な体験や学習を通して、楽しく学びながら探究心を育む事を目的に、学校と連携し、本事業を実施する。
- 【対象】小学生、教員、短大生など
- 【日程】7月7日、7月8日、8月6日
- 【場所】滝川第一小学校、滝川第二小学校、國學院大學北海道短期大学部
- 【内容】木版画と音楽で味わう手島圭三郎さんの世界、著作権講座など

探求的な学習の支援

- 【目的】自ら学び解決する力を育むため、探求的な学習の支援・充実を図る。
- 【対象】小・中学生、教員
- 【期間】通年
- 【場所】学校、図書館
- 【内容】探究的な学習用図書の実施・貸出、テーマ別バスファインダーの作成・配付、冊子「調べる学習のススメ」の作成・配付、調べる学習コンクールの優秀作品のレプリカの作成・配付、探求的な学習の成果物展示

たきかわっ子ワクワク宇宙プログラム

- 【目的】本や体験を通して、宇宙や天体への興味・関心を高めることを目的として本事業を実施する。
- 【対象】子どもから大人
- 【期間】6月27日～9月24日
- 【場所】図書館ほか
- 【内容】七夕展示「たなばたを楽しもう!」えほんとあそぼう!「おはなしのひろば～紙コップロケットをつくろう～」おつきさまのえほん」原画展、たきかわDE調べる学習体験講座「モデルロケット製作コース」展示「9.8 トータル・ルナ・エクリプス」

絵本作家講演会

- 【目的】絵本作家からのメッセージを直接語りかけてもらうことにより、絵本の魅力を広く伝える。
- 【対象】中空知地域の子どもから大人まで
- 【日程】9月21日
- 【場所】芦別市
- 【内容】はたこうしろう講演会

おはなしカーニバル

- 【目的】中空知地域の図書館相互の交流を図り、國學院大學北海道短期大学部との連携により、子どもが絵本文化に触れる機会を提供する。
- 【対象】中空知地域の子どもから大人まで
- 【日程】11月15日
- 【場所】奈井江町
- 【内容】読み聞かせなど

地域講習会

- 【目的】図書館等での読み聞かせボランティアの新しい人材育成とともに、既存ボランティアのレベルアップを目的とする。
- 【対象】中空知地域の読み聞かせボランティア、読み聞かせボランティアに興味がある方
- 【日程】未定
- 【場所】未定
- 【内容】読み聞かせ講座、朗読講座など

図書館スタンプラリー

- 【目的】中空知地域の図書館を巡ることで、交流人口が増加、図書館の相互利用が広がる事を目的に実施する。
- 【対象】子どもから大人
- 【期間】7月～9月
- 【場所】中空知管内図書館、公民館図書室
- 【内容】スタンプラリーを実施し、規定数のスタンプを集めたら抽選で図書カードを贈呈

図書館の概要

● 図書館

【所在地】〒073 - 8686 大町 1 丁目 2 番15号（滝川市役所 2 階） TEL：22 - 4646 FAX：23 - 1284

【施設概要】図書館1,428㎡・地下書庫30㎡・閲覧席140席・学習室18席

【移転年月日】平成23年11月12日

5

博物館

美術自然史館事業

特別展「戦後 80 年 たきかわ戦争の記憶」

【目的】戦後 80 年が経ち戦争の記憶が次第に風化している今、本展覧会では郷土館等で収蔵してきた人造石油資料をはじめ、出征兵士の写真や大政翼賛会滝川支部の資料、さらには国民服など生活物資等を展示し当時のまちの人たちの暮らしぶりを振り返る。

【対象】全市民

【期間】7 月 5 日～ 8 月 31 日

【場所】美術自然史館

【内容】(1)展示

テーマごとに写真や生活物資等の資料を展示

- ・戦時下の暮らし
- ・出征兵士とその家族
- ・北海道石油滝川工場 等

(2)普及事業

講演会「記憶をたどる - 戦時下のたきかわ - 」 8 月 9 日

教育普及活動事業

1. デッサン会

【目的】滝川美術協会会員の協力により、絵画の基礎であるデッサンを学ぶ。

【対象】全市民

【内容・期間】 裸婦デッサン会 4 月 13 日、6 月 15 日、10 月 19 日

【内容・期間】 人物デッサン会 8 月 24 日、11 月 16 日

2. 化石教室

【目的】化石に関心を持ってもらうとともに、タキカワカイギウウをはじめ化石という地域の財産に理解を深めてもらう。

【対象】全市民

【内容】 タキカワカイギウウ発掘 45 周年記念～化石キーホルダー作り 8 月 23 日
化石レプリカ作り 10 月 18 日

おでかけミュージアム

【対象】全市民

【内容】アウトリーチ活動として、学校や児童センター、公民館等にスタッフが出向いて、資料を活用した講座を行う。

こども科学館事業

月イチリカ室

- 【対象】小学生
【期間】毎月第4土曜日
【場所】こども科学館
【内容】毎月第4土曜日を「月イチリカ室」の日と定め、実験や工作など身近な科学に親しんでもらう。

わくわくサイエンス

- 【内容】楽しいサイエンスショーや科学工作の体験を夏・冬・春休みの時期に開催する。
【期間】わくわくサイエンス 8月、1月、3月
サイエンステーブル 通年

おでかけミュージアム

- 【対象】全市民
【内容】アウトリーチ活動として、学校や児童センター、公民館等にスタッフが出向いて、資料を活用した講座を行う。

冬休み こどもウィーク

- 【対象】全市民
【期間】1月6日～11日
【内容】期間中、こども科学館を無料開放

郷土館事業

郷土館事業

- 【対象】全市民
【期間】5月3日～9月28日の土日・祝日、8月15日
【場所】郷土館
【内容】地域の歴史や出来事、人々の暮らしを実物の資料や解説パネルを通じて学ぶことができる。

教育普及活動事業

1. 博物館めぐり
【対象】全市民 10月24日
2. 滝川歴史散歩
【対象】全市民 9月12日
3. 鉄道用品展
【対象】全市民 9月13日～14日

おでかけミュージアム

- 【対象】全市民
【内容】アウトリーチ活動として、学校や児童センター、公民館等にスタッフが出向いて、資料を活用した講座を行う。

文化財保護・活用事業

文化財の調査・整備事業

【目的】 滝川の歴史を残す貴重な建造物等を後世まで確実に保存することを目的とする。
【内容】 華月館、屯田兵屋など指定文化財を整備する。

文化財の活用

【目的】 指定文化財を活用した事業を開催し、文化財保護の普及と啓発を推進することを目的とする。
【内容】 指定文化財を活用した講演会等、普及事業を実施する。

博物館の概要

● 美術自然史館

【所在地】 〒073 - 0033 新町 2 丁目 5 番30号 TEL : 23 - 0502 FAX : 23-8786
【敷地面積】 10,534.97㎡ 【延床面積】 2,889.37㎡ 【構造】 鉄筋コンクリート造 2 階一部地下
【施設概要】 展示室 5 室、研究室、収蔵庫 【開館年月日】 昭和61年 9 月13日

● こども科学館

【所在地】 〒073 - 0033 新町 2 丁目 6 番 1 号 TEL : 22 - 6690 FAX : 23-8786
【延床面積】 1,778.30㎡ 【構造】 鉄骨・鉄筋コンクリート造
【施設概要】 展示室 4 室、滝川を科学する室（研修室） 【開館年月日】 平成 3 年 3 月16日

● 郷土館

【所在地】 〒073 - 0033 新町 3 丁目 8 番20号 TEL : 23 - 0502 FAX : 23 - 8786
【敷地面積】 2,400.00㎡ 【延床面積】 954.21㎡ 【構造】 鉄骨造 2 階建
【施設概要】 展示室 3 室、第二展示場、収蔵庫 【開館年月日】 昭和52年 6 月 1 日

IV その他

1 空知教育センター組合

所在地等	〒073-0014 文京町4丁目1-1 TEL：22-1371 FAX：22-1372
代表者	組合長 前田 康吉
構成市町村	空知管内 10市14町
設置目的	空知総合振興局所管区域内の市町が共同して教職員の研修及び研修に係る調査研究の実施並びに教育の理論と実践に係る研究を行うため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第30条の規定に基づく教育機関として設置。
開設年月日	昭和43年4月26日
組織及び機構図	
事業内容	○実践的指導力の向上に資する研修事業 ①研修講座の開催（指導実技、ICT活用等） ②学校力向上支援事業の推進 ○今日的な教育課題を解明し、その成果を活かす研究事業 ①研究主題 「確かな学力」の育成を図る学習指導の在り方 ICTを効果的に活用した「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実 ②教育研究員と所員で構成する教育研究推進協議会を設置して研究協議及び公開授業等の実施 ○教育活動の充実に活用できる情報発信事業 ①ホームページを活用し、研修・研究事業などで実践した指導案の公開及び管内小中学校や教育研究団体の活動を紹介 ②教職員のニーズに応える公式ホームページの充実を図るとともに空知教育センター施設利用向上のため、会議室の設備や環境の良さを発信
事業推進の基本方針	未来社会が複雑で予測困難な時代になっても、持続可能な社会の創り手となることが期待される子どもたちに、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、判断して行動することのできる「生きる力」を育成するためには、創意工夫を生かした特色ある教育活動を通して、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」を育むことが大切です。 さらに、いじめ・不登校等生徒指導上の諸課題への対応、学習指導・特別支援教育の改善充実及びギガスクール構想におけるICTの活用などを中心課題として押さえ、その達成のために必要となる資質・能力を身につけるための研修事業、研究事業及び情報発信事業を推進します。



一般財団法人 滝川生涯学習振興会

所在地等	〒073-0033 新町2丁目6-1 (滝川市中央児童センター2F) TEL: 23-0294 FAX: 23-0292		
設立経過	昭和60年4月民間団体として発足し、同年9月北海道教育委員会から財団法人として認可された。 公益法人制度改革関連法の施行により平成26年4月一般財団法人として北海道から認可された。		
事業	○生涯学習に関する講演会、シンポジウム、講座の開催 ○生涯学習に関する情報の収集、提供 ○生涯学習の指導者の登録、紹介等 ○生涯学習に関する調査研究 ○生涯学習を推進する行政機関や他の団体との連携、これらの行う事業に対する協力援助 ○リブラーンいきいきカレッジの開催		
組織体制 代表者	理事長 米倉 慎一 副理事長 2人 専務理事 1人 理事 3人	監事 2人 評議員 12人 顧問 8人 事務局員 2人	
推進目標	1. 生涯学習の理解を深め、民間活力を生かした生涯学習社会の実現に努める。 2. 激動する社会の変化に対応する各種事業の推進に努める。 3. 「滝川市健康都市宣言」の趣旨実現に努める。 4. 会員開発と加入促進に努める。		
事業内容	○学習機会の提供に関する事業 1. 講演会 (1) リブラーン講演会 9月 2. 講座の開催 (1) 教養講座 ①古典文学を学ぶ講座 5～6月 ②日本神話・神話講座 前期5～7月・後期10～12月 ③滝川探訪講座 9月 ④おとなの社会科見学講座 9月 ⑤オノディとバーチャル旅行(海外編・国内編)講座 6～7月 ⑥カラー図版で読み解く「源氏物語」講座 10～11月 ⑦日本語再発見講座 9～10月 ⑧アイヌ文化の学び方講座 10～11月 ⑨古文書から歴史ドラマを読み解く講座 11～12月 ⑩この人の話を聴いてみよう！講座 9～11月 ⑪身近にある人権を考えてみよう講座 6～7月 (2) 健康・運動講座 ①楽しいズン・ダンス講座 前期5～7月・後期10～11月 ②ヨガ入門講座 前期5～8月・後期1～3月 ③リズムウォーキング講座 前期5～7月・後期10～12月 ④自宅でできる簡単な運動講座 5～10月 ⑤笑いは元気の特効薬！ラフターヨガ講座 6～2月 ⑥手を圧して全身改善！指ヨガ講座 5～1月 ⑦誰でも楽しめるポッチャ講座 11～2月 ⑧自分でできる足裏マッサージ講座 6～12月 ⑨気軽にエアロビクス講座 前期7～10月・後期1～3月 ⑩ゆる体操講座 8～10月 ⑪中国武術太極拳講座 9～10月 ⑫認知症予防運動講座 10～3月 ⑬楽しく自然にフィットネスディスコワールド講座 12～3月 ⑭ゆったりストレッチ講座 2月 (3) 趣味・実用講座 ①笑顔をつなぐフォークダンス講座 前期5～6月・後期2～3月 ②和楽器～お琴に挑戦！講座 5～6月 ③かわいの手編み講座 6～8月 ④クラフトバンド講座 5月 ⑤いちからはじめるボールペン字講座 5～6月 ⑥楽しもう脳トレ麻雀講座 6～11月 ⑦童謡と叙情歌を楽しく歌う講座 5～12月 ⑧たのしいものづくり「切り絵」講座 9～10月 ⑨はじめてのチーズづくり講座 6月 ⑩はじめていける季節の生け花講座 6～12月 ⑪おとなの手習い筆ペン講座 6～8月 ⑫いろいろなチーズを味わって楽しむ講座 5～10月 ⑬ゼロからはじめる楽しいオカリナ講座 7～11月 ⑭フラを楽しく踊ろう講座 7～8月 ⑮想いを筆で伝える「伝筆」講座 前期7～11月・後期2～3月 ⑯簡単に描けるいやしのバステルアート講座 7・9月 ⑰星空を学び、星空を見よう講座 6～10月 ⑱基礎からはじめる手話講座 9～11月 ⑲卓上織機で小物づくり講座 6～9月 ⑳ゆっくりたのしく書に親しもう！講座 7～10月 ㉑やさしいソーブカービング講座 10・11月 ㉒楽しい「バステル切り絵」講座 2・3月 ㉓心華やぐラメで和柄模様を描こう講座 12・1月 ㉔おしゃれなハンドメイド講座 12～3月 ㉕脳トレ～おもしろ将棋入門講座 1～2月 ㉖大人のポップスと歌謡曲を歌って楽しもう！講座 1～3月 ㉗ガラスの風鈴に絵をつけよう！ボーセラーツ講座 6月 ㉘白磁のタイルに絵をつけよう！ボーセラーツ講座 12月 (4) 語学講座 ①ABCからはじめる英会話講座 6～9月 ②おもてなし中国語講座 12～3月 ③初心者のための旅行英会話講座 12～2月 3. リブラーンいきいきカレッジの実施 4. 資格認定に関する試験 (1) 漢字検定試験 6月・2月 5. その他 (1) アートステージ空知との共催事業 (2) 空知文化工房との共催事業 (3) 講座作品展示 3月 ○情報の提供に関する事業 1. 情報紙「リブラーンたきかわ」発行 年4回 2. PR情報紙発行 年1回 3. ミニ会報発行 月1回 4. 広報たきかわ及び報道機関の紙面を活用した事業案内、広報活動 5. ホームページの運営 ○指導者の登録に関する事業 1. ジャンル別講師データの追録・修正 2. 指導者の発掘 ○調査・研究に関する事業 1. 各関係機関の発行する生涯学習関連資料を収集し、事業推進の資料とする。 2. 道内外の先進地を調査し、学習の資料とする。 ○連絡推進に関する事業 1. 行政との連携を図り、事業推進の適正化と効率化を図る。 2. 多様化する学習ニーズに対応するため、道民カレッジ講座との連携を図る。 3. 各種団体との連携を深め、地域に根ざした生涯学習の推進を図る。 4. 芸術・文化・スポーツ団体等との連携を図る。 5. 有効、有益な講演事業等を推進するため、関係機関と連携し開催する。 6. グループ、サークル、団体等との連携を深め後援・協賛・共催を行う。		



滝川市文化連盟

所在地等	〒073-0032 明神町2丁目2-16 (ホテルスエヒロ内) TEL・FAX: 23-5225		
設立経過	滝川市文化連盟は、平成3年7月8日に設立総会を開催し、それまで滝川市文化協会（昭和22年5月5日設立）と江部乙文化団体協議会（昭和28年6月4日設立）による滝川市文化団体連絡協議会を発展的に解散、滝川市文化連盟として新たに結成された。		
目的	会員相互の資質の向上を図るとともに、市民の芸術文化の振興に役立つ事業を行い、ひいては郷土の芸術文化の振興に寄与することを目的とする。		
組織体制 代表者	会 長 藤井 謙和 副 会 長 4名 理 事 長 1名 (副会長兼務) 理 事 19名 監 事 2名	事 務 局 (局長1名) 副会長兼務 顧 問 5名 参 与 2名	加盟団体 40団体 357名 (令和7年5月1日現在)
推進目標	1. 加盟団体相互の連携と芸術文化事業の推進 2. 加盟団体が開催する事業への支援 3. 各種発表会、展覧会等主催事業の企画・実施 4. 芸術文化団体との文化交流事業の推進 5. 会員等の研修事業の実施 6. 各種芸術文化に関する調査 7. その他芸術文化事業に付帯する事業		
事業内容	1. 主催・共催事業 (1) 第53回滝川市民文化祭 ・書道・絵画・写真・美術刀剣・一般公募 10月25日～26日 美術自然史館 ・こどもアートひろば 10月25日～26日 美術自然史館 ・こども音楽発表会 10月25日 美術自然史館 ・華道・文芸・手工芸・鑑賞 10月25日～26日 滝川市民交流プラザ ・茶道(呈茶) 10月26日 滝川市民交流プラザ ・芸能発表 10月26日 滝川市民交流プラザ (2) 文化連盟新年交礼会 令和8年1月24日 滝川ホテル三浦華園 (3) 第60回和の集い 令和8年3月8日 滝川市民交流プラザ 2. 交流事業 (1) 空知文化団体連絡協議会総会 4月26日 岩見沢市 (2) 第49回道民芸術祭兼第57回空知管内郷土芸術祭 舞台(芸能)部門 9月7日 三笠市 (3) 第48回全空知文化交流会 11月15日 まちづくりセンター みんなくる 3. 顕彰事業 (1) 滝川市文化賞表彰式 令和8年1月24日 4. 刊行事業 (1) 滝川市文化連盟会報誌「滝文連」の発行 年2回 5. 支援・後援事業 (1) 加盟団体の各種発表会、展示会、記念事業・出版事業への支援後援 (2) 上記以外で、地域における芸術文化の振興に寄与すると認めた事業への協賛		



一般財団法人 滝川市スポーツ協会

所在地等	〒073－0005 二の坂町東3丁目2－1 TEL：23－4617 FAX：23－4351		
設立経過	大正9年に滝川体育会として発足し、昭和52年北海道教育委員会から財団法人として認可された。平成25年4月1日、一般財団法人に移行。令和2年4月1日に一般財団法人滝川市スポーツ協会に名称変更。		
目 的	滝川市におけるスポーツ団体を総括し、スポーツの普及振興のために必要な事業を行うとともに、その設置するスポーツ施設を適切に運営し、もって心身の健全な発達と本市におけるスポーツの普及振興に寄与することを目的とする。		
組織体制 代表者	会 長 猪股 浩徳 常務理事 1名 理 事 6名 副会長 3名 監 事 2名 事務局（局長（常務理事業務）・次長1名・スタッフ23名） 加盟団体 32団体		
推進目標	1. 市民に対するスポーツの振興に関する方策を講ずるとともにアマチュア精神の普及を図り、市民の体力向上及びスポーツに関する情報提供を行うこと。 2. 公益財団法人北海道スポーツ協会と協調を図るとともに各加盟団体の強化発展と相互の融和に努め、滝川市及び北海道の施策に協力すること。 3. スポーツに関する講習会や各種教室を開催するとともに、他のスポーツ団体等の行うスポーツ事業に協力すること。 4. 全道・全国的規模のスポーツ大会に競技者及び役員を派遣すること。 5. スポーツ少年団の育成に関すること。 6. スポーツに関し功労のあった者を表彰すること。 7. スポーツ施設の維持、管理及び運営を行うこと。 8. その他この法人の目的を達成するために必要な事業。		
事業内容	1. 市民スポーツの振興に関する方策を講ずる開催事業及びスポーツ大会を開催するとともに、他のスポーツ団体等の行うスポーツ事業に協力する。 (1) スポーツフェスティバルの開催 (2) マリンスポーツフェスティバル 7月～8月中 (3) クリーンフェスティバル 7月中 (4) たきかわコスモスマラソン2025 9月7日 (5) ホームページ・フェイスブック掲載事業 2. 加盟団体の強化発展と相互の連絡融和を図り、加盟団体の助成を図る事業 (1) スポーツ交流会 9月26日 (2) 加盟団体助成事業 10月中旬 3. スポーツに関する講習会・教室の開催及び指導者養成事業 (1) 元気アップ教室 4月～3月 (2) 白樺幼稚園運動教室 4月～2月 (3) 出前講座 4月～3月 (4) ストレッチボール教室 4月～3月 (5) ストレッチーズ教室 4月～3月 (6) シニア元気体操教室 4月～3月 (7) 親子カヌー教室 7月26日 (8) カヌー教室 7月27日 (9) カヌー等の水上スポーツを楽しもう 9月19日 (10) 小学1年生スキー教室 1月7日～9日 (11) 小学生スケート教室 1月7日～9日 (12) スノーレク2025 1月31日 4. 全国・全道的スポーツ大会への参加奨励事業 (1) 全国大会に参加する団体・個人に対する奨励 通年 (2) 北海道B＆Gスポーツ交流交歓会「水上の部」選手派遣事業 8月3日	5. スポーツ少年団育成事業 11月8日 6. スポーツ功労者等の表彰事業 (1) 一般 9月26日 (2) 学校関係 3月7日 7. スポーツ施設の運営管理事業 (1) すばーく滝川 通年 (2) スポーツセンター第1体育館 通年 (3) スポーツセンター第2体育館 通年 (4) B＆G海洋センター 5月10日～10月10日 (5) 滝の川公園 4月24日～10月31日 (6) 北電公園球場 4月29日～10月31日 (7) 池の前水上公園（B＆G海洋センターを除く）のうちカヌー等の利用に係る部分 4月29日～10月31日 (8) 石狩川球場 4月29日～10月31日 (9) サッカー場 4月29日～10月31日 (10) 北電スロープ 12月20日～2月11日 (11) 江部乙パークゴルフ場 4月29日～10月31日 (12) 滝川市テニスコート 4月24日～10月31日 (13) 施設を利用した協賛企業の広告掲載 通年 8. その他法人の目的を達成するために必要な事業 (1) 滝川スケートリンク造成・管理運営事業 12月26日～2月11日	

V 資料編

1 各種審議会等

滝川市いじめ防止専門委員会

【目的】 いじめの防止等のための対策の実効的な推進を図るため、以下の職務を行う。

- (1) 教育委員会の諮問に応じ、いじめの防止等のための対策の実効的な推進に関する重要事項を調査審議する。
- (2) いじめの防止等のための対策の実効的な推進の在り方に関し、教育委員会に意見を述べる。

会長	百々 尚美	定数	4人以内
設置年月日	平成26年4月1日	任期	令和6年6月1日～令和8年5月31日
関係法令等	滝川市子どものいじめの防止等に関する条例 滝川市いじめ防止専門委員会規則	所管課	教育総務課
氏名	氏名	氏名	氏名
百々 尚美	寺崎 真一郎	杉浦 善敬	岩岬 稔

滝川市いじめ問題対策連絡協議会

【目的】 滝川市子どものいじめの防止等に関する条例の規定に基づき、いじめの防止等に関係する機関など団体の連携を協議するとともに、啓発を効果的に進めるため協議する。

会長	田中 嘉樹	定数	8人以内
設置年月日	平成26年4月1日	任期	令和6年6月1日～令和8年5月31日
関係法令等	滝川市子どものいじめの防止等に関する条例 滝川市いじめ問題対策連絡協議会規則	所管課	教育総務課
氏名	氏名	氏名	氏名
鈴木 成光	清水 亮輔	日比生 究	今野 栄司
山本 繁	小森 純	中川 浩之	景由 隆寛

滝川市教育支援委員会議

【目的】 心身に障がいのある児童生徒及び就学予定者の特別支援学校又は小学校若しくは中学校の特別支援学級等への就学に関し、必要な専門的意見を取りまとめ、その結果を教育委員会に報告する。

会長	菅原 寿一			副会長	日比生 究		定数	24人以内
設置年月日	昭和53年11月24日			任期	令和6年5月1日～令和8年4月30日			
区分	1号－医師 2号－学識経験者 3号－教育機関の職員 4号－児童福祉施設の職員 5号－関係行政機関の職員							
関係法令等	滝川市教育支援委員会議規則			所管課	教育総務課			
氏名	区分	氏名	区分	氏名	区分	氏名	区分	
菅原 寿一	2号	日比生 究	2号	永井 和重	1号	杉山 敏彦	4号	
運上 明子	5号	吉村 伸子	3号	西山 美幸	3号	鏡 悦子	3号	
栗田 友恵	3号	横井 美和	3号	田中 章子	3号	工藤 知子	3号	
會田 佳奈子	3号	岩田 考	3号	外崎 仁美	3号	沼田 佳子	3号	
熊谷 さおり	3号	金澤 麻奈美	3号	横林 広恵	3号	金子 智里	3号	
大前 悠希	3号	細井 美樹子	3号					

滝川市社会教育委員会議

【目的】 教育基本法に規定する社会教育の振興を図るために設置。社会教育に関し教育委員会に助言するため、以下の職務を行う。

- (1) 社会教育に関する諸計画を立案すること
- (2) 定時又は臨時に会議を開き、教育委員会の諮問に応じ、これに対して、意見を述べること
- (3) 前2号の職務を行うために必要な調査研究を行うこと
- (4) 教育委員会の会議に出席して社会教育に関し意見を述べること
- (5) 教育委員会から委嘱を受けた青少年教育に関する特定の事項について、社会教育関係団体、社会教育指導者その他関係者に対し、助言と指導を与えること
- (6) 社会教育関係団体に対する補助金交付について意見を述べること

委員長	山木 傑	副委員長	村田 淳子	定数	10人以内
設置年月日	平成26年 5 月 1 日	任期	令和 6 年 5 月 1 日～令和 8 年 4 月 30 日		
関係法令等	滝川市社会教育委員設置条例 滝川市社会教育委員会議規則		所管課	社会教育課	
氏名		氏名	氏名		氏名
山木 傑		村田 淳子	井上 正恵		柴尾 智子
柴田 直美		白神 祐貴	曾根 英司		田中 一徳
珍田 恭江		坪江 潤			

滝川市文化財保護審議会

【目的】 滝川市の文化財の保存及び活用に関する重要事項について調査審議するために設置。

会長	大竹 敏章	副会長	高石 啓一	定数	5人以内
設置年月日	昭和46年4月1日	任期	令和7年5月1日～令和9年4月30日		
関係法令等	滝川市文化財保護条例、滝川市文化財保護審議会規則			所管課	美術自然史館
氏名	氏名	氏名	氏名		
大竹 敏章	高石 啓一	平手 智子	森 悟朗		
高谷 富士雄					

滝川市スポーツ推進委員

【目的】 スポーツ基本法の規定に基づき、スポーツの振興のため、住民に対し、スポーツの実技の指導
その他スポーツに関する助言を行うために配置。職務については次のとおりである。

- (1) スポーツの推進のための事業の実施に係る連絡調整を行うこと
- (2) 住民の求めに応じてスポーツの実技の指導を行うこと
- (3) 住民のスポーツ活動の促進のための組織の育成を図ること
- (4) 学校、公民館等の教育機関その他の行政機関の行うスポーツの行事又は事業に関し協力すること
- (5) スポーツ団体その他の団体の行うスポーツに関する行事又は事業に関し求めに応じ協力すること
- (6) 住民一般に対し、スポーツについての理解を深めること
- (7) 前各号に掲げるもののほか、住民のスポーツの振興のための指導助言を行うこと

設置年月日	昭和37年5月1日	任期	令和7年4月1日～令和9年3月31日	定数	14人以内
関係法令等	スポーツ基本法、滝川市スポーツ推進委員に関する規則			所管課	社会教育課
氏名	氏名	氏名	氏名		
高桑 武行	前田 静枝	松本 留美子	佐藤 寿幸		
佐々木 正志	曾我部 亘	柏木 雅人	森 成幸		
渡邊 要一郎					

2

教育関係団体等一覧

名 称	代 表 者	事務局所在所管課又は施設名
滝川市教育委員会の権限に属する事務の外部評価会議	委員長 栗井 康裕	教育総務課 28-8042
滝川市高等学校教育のあり方に関する検討市民会議	委員長 栗井 康裕	教育総務課 28-8042
滝川市教育振興会	会長 中川 浩之	東小学校 23-1591
江陵中学校区学校運営協議会	会長 本間 章久	教育総務課 28-8042
明苑中学校区学校運営協議会	会長 稲葉 了大	教育総務課 28-8042
開西中学校区学校運営協議会	会長 水口 典一	教育総務課 28-8042
滝川西高等学校関係者評価委員会	委員長 日比生 究	教育総務課 28-8042
滝川市PTA連合会	会長 小森 純	滝川第三小学校 24-6107
滝川市青少年育成会連絡協議会	会長 水口 典一	社会教育課 28-8046
滝川市青年交流プラザ振興会	会長 田中 義万	社会教育課 28-8046
一般財団法人 滝川生涯学習振興会	理事長 米倉 慎一	中央児童センター 23-0294
滝川市文化連盟	会長 藤井 謙和	振興公社管理ビル 23-5225
特定非営利活動法人岩橋ふるさと北辰振興会	会長 早弓 弘行	美術自然史館 23-0502
たきかわ博物館くらぶ	会長 田中 三郎	美術自然史館 23-0502
滝川市郷土研究会	会長 高石 啓一	郷土館 23-0502
滝川SL愛好会	会長 遠藤 均	郷土館 23-0502
一般財団法人 滝川市スポーツ協会	会長 猪股 浩徳	滝川市スポーツセンター 第1体育館 23-4617



芸術文化団体一覧

滝川市文化連盟事務局

【所在地】ホテルスエヒロ内（明神町２－２－１６） TEL・FAX：23－5225

≪滝川市文化連盟加盟団体≫

令和7年5月1日現在

部 門	団 体 名	代 表 者
邦 楽	新都山流尺八 都栄会	田守 勲
	生田流正派邦楽会 山口社中	山口 雅楽優
	生田流正派邦楽 ひさの会	北 教子
	長谷川社中	長谷川 雅楽雅
	国風音楽奨励会生田流小山社中	嶋田 秀翔
	長唄柏千会	柏 伊三千
民 謡	柴田三味線教室	柴田 真吾
	竜翔民謡太鼓会	沖 雅昭
詩 吟	桜雲流	田口 秀桜
	日本詩吟学院 岳風会 滝川吟詠会	齊藤 秀希
音 楽	滝川市婦人会音楽部	経塚 玲子
	滝川音楽協会	鷺尾 昌法
	滝川歌謡クラブ	高坂 克俊
	滝川相撲甚句会	吉田 茂男
	滝川市民合唱団	進司 秀仁
	カラオケ和楽会	下地 美智子
日 舞	藤間流真佐喜会	藤間 真佐喜
	東流寿々代会	東 寿々代
	吟剣詩舞 和翔流	前野 和子
	藤間流勘喜久哥会	藤間 勘喜久哥
	荻江流 紫寿の会	道川 早苗
洋 舞	M a k o t o b a l l e t s t u d i o	小野 誠
	Y a s uバレエスタジオ	斎藤 やす
華 道	池坊滝川支部	泉 信子
	松月堂古流滝川支部	村田 淳子
	小原流 札幌支部 滝川支所	佐藤 久美子
	池坊光明流清美会 滝川支部	山本 祥永
	池坊清月派 空知支部	佐藤 晶青
茶 道	裏千家 上田社中	上田 宗輝
	茶道宗偏流 滝川会	鈴木 加代子
	大和遠州流茶道静月流煎茶道	小坂 芳月
美 術	全日本写真連盟滝川支部	細川 光義
	北海道写真協会滝川支部	渡辺 精郎
	滝川書道連盟	高島 正堂
文 学	滝川川柳社	田中 忠幸
	滝川俳句会	児玉 佳恵
鑑 賞	滝川美術刀剣会	田村 勇
	滝川映画サークル	谷本 敏史
	滝川おやこ劇場	新堂 活子
	N P O法人アートステージ空知	篠原 暁

4 スポーツ団体一覧

一般財団法人 滝川市スポーツ協会事務局

【所在地】滝川市スポーツセンター第1体育館（二の坂町東3-2-1） TEL：23-4617 FAX：23-4351

《一般財団法人 滝川市スポーツ協会加盟団体》

団 体 名	代表者
滝川軟式野球連盟	柴田 文男
滝川ソフトテニス連盟	藤井 謙和
滝川卓球連盟	田村 弘
滝川市バレーボール協会	荒木 文一
滝川バスケットボール連盟	中島 亮
滝川バドミントン協会	高山 訓正
滝川剣道連盟	西村 耕司
滝川柔道連盟	高野 清志
滝川陸上競技協会	安樂 良幸
滝川スキー協会	有田 賢治
滝川銃剣道連盟	北村 昌也
滝川クレ射撃協会	田村 勇
滝川弓道連盟	丹保 直喜
滝川市ソフトボール協会	水口 典一
滝川市スポーツ少年団本部	小野 保之
滝川朝野球連盟	山口 清悦
滝川水泳協会	成田 美和子
滝川テニス協会	縄手 康湖
滝川サッカー協会	猪股 旬雄
滝川アーチェリー協会	高橋 寛次
滝川ボウリング協会	嶋谷 一俊
滝川パークゴルフ協会	山崎 浅市
滝川ターゲット・パードゴルフ協会	坂下 薫
滝川ミニバレーボール協会	水口 典一
B & G 滝川海洋クラブ	猪股 浩徳
滝川硬式野球クラブ	藤井 謙和
滝川空手道連盟	佐藤 哲男
滝川コスモスパークゴルフ協会	大阪 史弘
滝川フットサル協会	渡邊 要
滝川クライミングクラブ	杉山 敏彦
滝川市民ゴルフ場サポーターズクラブ	米倉 慎一
滝川合気道協会	目黒 久雄



滝川市の文化財

(1) 北海道指定文化財

名 称	種 別	指 定 日
タキカワカイギュウ化石標本	天然記念物	昭和59年3月12日
滝川屯田兵文書（第二大隊第三中隊・第四中隊文書）	有形文化財	平成28年3月31日

(2) 滝川市指定文化財

指定番号	名 称	種 別	員 数	所有者
1	高畑利宜資料	有形文化財	1,340件	滝川市
3	華月館	有形文化財	1棟	滝川市
5	屯田兵屋	有形文化財	1棟	滝川市
6	牧羊用石造サイロ	有形文化財	1基	滝川市
8	北海道人造石油株式会社滝川工場 関係資料	有形文化財	194点	滝川市

※指定番号2、4、7については欠番

(3) 史跡

滝川市の史跡標柱：35ヶ所

健康都市宣言

わたしたち滝川市民にとって、心や体はもちろん、社会のすべてが健康であることは何よりも大切なことです。

わたしたち一人ひとは、滝川市民憲章のもとに、まち全体の健康をより積極的により創造的に増進させ、まちの未来を切り拓いていかなければなりません。

平成の幕開けにあたり、大空にはばたく滝川2世紀の明るいまちづくりをめざし、熱い決意をこめて「健康都市」を宣言します。

(平成元年4月1日)

環境都市宣言

わたしたちのまち滝川は、石狩川と空知川に育まれた豊かな大地と自然の恵みを受けて、健康で文化的なまちとして発展してきました。

しかし、今、人々の営みは、豊かな自然や調和のとれた地球環境に大きな影響を与えています。

21世紀を迎え、わたしたちは、地球の優れた環境を再生し、美しい地球を未来に引き継ぐため、環境にやさしいまちづくりに努めることを誓います。

(平成15年1月1日)

平和都市宣言

世界がいつまでも平和で、みんなが安心して暮らせることは、人類の共通した願いです。

しかし、世界各地では戦争やテロリズム等によって、多くの尊い人命が奪われるなど争いが絶えません。

私たちは、わが国が世界で唯一の被爆国として、戦争のつらく悲しい記憶をいつまでも忘れずに、多くの人々と手を取り合い、核兵器と争いのない世界の実現を強く望みます。

そのために、滝川市がこれまで深めてきた国際交流の輪をさらに広げて、世界中の人々と互いの個性を理解し尊重していきます。

先人が残してくれた美しい自然、文化、伝統をこれからも大切に守り、平和な未来を子どもたちにしっかりと引き継いでいくことを誓い、ここに「平和都市」を宣言します。

(平成28年4月1日)

令和7年度 滝川市の教育

発行・編集 滝川市教育委員会

〒073-8686 滝川市大町1丁目2番15号

TEL:0125-28-8042 FAX:0125-24-1024

【HP アドレス】<https://www.city.takikawa.lg.jp/site/kyouiku-top/2772.html>

【E-mail】shien@city.takikawa.lg.jp

発行日 令和7年8月29日
